CICS Transaction Server for z/OS

モニター・データ・リファレンス

バージョン *5* リリース *5*

CICS Transaction Server for z/OS

モニター・データ・リファレンス

バージョン *5* リリース *5*

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 99 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
Monitoring Data Reference
Version 5 Release 5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1977, 2018.

目次

この PDF について v

第 1 章 モニター・フィールドの説明. . . 1
トランザクション・タイミング・フィールド. . . . 1
トランザクションの応答時間 3
トランザクション・ディスパッチ時間と CPU 時間 . 4
トランザクション待ち (中断) 時間 4
プログラム・ロード時間 9
RMI 経過時間および中断時間 10
JVM 経過時間および中断時間 10
同期点経過時間 11
ストレージ占有カウント 12
プログラム・ストレージ 13

第 2 章 パフォーマンス・クラス・データ : データ・フィールドのリスト 15
グループ DFHCBTS 内のパフォーマンス・データ 15
グループ DFHCHNL 内のパフォーマンス・データ 17
グループ DFHCICS 内のパフォーマンス・データ 18
グループ DFHDATA 内のパフォーマンス・データ 25
グループ DFHDEST 内のパフォーマンス・データ 26
グループ DFHDOCH 内のパフォーマンス・データ 27
グループ DFHFEPI 内のパフォーマンス・データ . 27
グループ DFHFILE 内のパフォーマンス・データ . 28
グループ DFHJOUR 内のパフォーマンス・データ 31
グループ DFHMAPP 内のパフォーマンス・データ 31
グループ DFHPROG 内のパフォーマンス・データ 32
グループ DFHRMI 内のパフォーマンス・データ. . 34
グループ DFHSOCK 内のパフォーマンス・データ 35
グループ DFHSTOR 内のパフォーマンス・データ 37
グループ DFHSYNC 内のパフォーマンス・データ 41
グループ DFHTASK 内のパフォーマンス・データ 42
グループ DFHTEMP 内のパフォーマンス・データ 61
グループ DFHTERM 内のパフォーマンス・データ 62
グループ DFHWEBB 内のパフォーマンス・データ 65
グループ DFHWEBC 内のパフォーマンス・データ 70

第 3 章 例外クラス・データ: データ・フィールドのリスト 71

第 4 章 トランザクション・リソース・クラス・データ: データ・フィールドのリスト 77

第 5 章 ID クラス・データ: データ・フィールドのリスト 89

第 6 章 総称アラート構造および解決構造 95
総称アラート構造 95
解決構造 97

特記事項 99

索引 105

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

この PDF について

この PDF は、CICS をモニターするために提供されている例外クラス・データ、ID クラス・データ、トランザクション・リソース・クラス・データ、およびシステム定義のパフォーマンス・クラス・データのモニター・データ・フィールドの解説書です。CICS TS V5.4 より前は、この PDF の情報は「パフォーマンス・ガイド」に掲載されていました。

本書で使用される用語および表記の詳細については、IBM Knowledge Center の CICS 資料で使用されている表記規則および用語を参照してください。

この PDF の日付

この PDF は、2018 年 12 月 14 日に作成されました。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

第 1 章 モニター・フィールドの説明

トランザクション・タイミング・フィールド

CMF パフォーマンス・クラス・レコードは、CICS® がトランザクションを処理すると、トランザクションごとに詳細なタイミング情報を提供します。トランザクションは、選択されているモニター・オプションに応じて、1 つ以上のパフォーマンス・クラス・レコードで表すことができます。

キー・トランザクションのタイミング・データ・フィールドは、以下のとおりです。

- トランザクションの開始時刻および停止時刻。これは、トランザクションの測定インターバルの開始および終了を表します。 これは、通常、トランザクションの接続と切り離しの間の期間ですが、選択されているモニター・オプションに応じて、パフォーマンス・クラス・レコードは、トランザクションの一部を表すことができます。「トランザクション応答時間」を計算するには、トランザクションの停止時刻から開始時刻を減算します。
- トランザクションのディスパッチ時間。これは、トランザクションがディスパッチされていた時間です。
- トランザクション・ディスパッチ待ち時間。これは、トランザクションが中断していた時間です。
- トランザクション CPU 時間。これは、タスクがプロセッサー・サイクルを使用しているときのディスパッチ時間の一部です。
- トランザクション中断時間。これは、タスクが中断していた時間の合計です。これには、すべてのタスク一時停止 (待機) 時間と以下のフィールドが含まれます。
  - 再ディスパッチ待ち時間 (ディスパッチ待ち)
  - 最初のディスパッチ待ち時間 (最初のディスパッチ遅延) この遅延は、さらに以下のフィールドに分類されます。
    - TRANCLASS 限度に起因する初回ディスパッチ遅延。
    - MXT 限度に起因する初回ディスパッチ遅延。
  - 入出力待ち時間およびその他の待ち時間の合計

CMF パフォーマンス・クラス・レコードは、トランザクション中断 (待ち) 時間も個別のデータ・フィールドにより細かく分類して提供します。 これらは、以下のフィールドから成ります。

表 *1.* パフォーマンス・クラスの待機 (中断) フィールド

グループ名	フィールド **ID**	フィールド名	説明
DFHTERM	009	TCIOWTT	端末入出力待ち時間
DFHJOUR	010	JCIOWTT	ジャーナル入出力待ち時間
DFHTEMP	011	TSIOWTT	一時記憶域入出力待ち時間

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

表 *1.* パフォーマンス・クラスの待機 (中断) フィールド (続き)

グループ名	フィールド **ID**	フィールド名	説明
DFHFILE	063	FCIOWTT	ファイル入出力待ち時間
DFHTERM	100	IRIOWTT	領域内入出力待ち時間
DFHDEST	101	TDIOWTT	一時データ入出力待ち時間
DFHTASK	123	GNQDELAY	グローバル ENQ 遅延時間
DFHTASK	128	LMDELAY	ロック・マネージャー遅延時間
DFHTASK	129	ENQDELAY	ローカル ENQ 遅延時間
DFHTERM	133	LU61WTT	LU 6.1 入出力待ち時間
DFHTERM	134	LU62WTT	LU 6.2 入出力待ち時間
DFHFEPI	156	SZWAIT	FEPI 一時停止時間
DFHTASK	171	RMISUSP	リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) 中断時間
DFHFILE	174	RLSWAIT	RLS ファイル入出力待ち時間
DFHFILE	176	CFDTWAIT	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの入出力待ち時間
DFHSYNC	177	SRVSYWTT	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの同期点および再同期化待ち時間
DFHTEMP	178	TSSHWAIT	共用一時記憶域入出力待ち時間
DFHTASK	181	WTEXWAIT	EXEC CICS WAIT EXTERNAL 待ち時間
DFHTASK	182	WTCEWAIT	EXEC CICS WAITCICS および WAIT EVENT 待ち時間
DFHTASK	183	ICDELAY	間隔制御遅延時間
DFHTASK	184	GVUPWAIT	ディスパッチ可能待ち待ち時間
DFHDATA	186	IMSWAIT	IMS™ DBCTL 待ち時間
DFHDATA	187	DB2RDYQW	Db2® 作動可能キュー待ち時間
DFHDATA	188	DB2CONWT	Db2 接続時間
DFHTASK	191	RRMSWAIT	RRMS/MVS 未確定待ち時間
DFHTASK	192	RQRWAIT	要求受信側待ち時間
DFHTASK	193	RQPWAIT	要求プロセッサー待ち時間
DFHTASK	195	RUNTRWTT	CICS BTS 実行プロセス/アクティビティー同期待ち時間
DFHSYNC	196	SYNCDLY	同期点遅延時間
DFHSOCK	241	SOIOWTT	インバウンド・ソケット入出力待ち時間
DFHTASK	247	DSCHMDLY	CICS TCB モード変更遅延時間
DFHTASK	250	MXTOTDLY	CICS L8 および L9 モード・オープン TCB 遅延時間
DFHTASK	254	JVMSUSP	JVM 中断時間
DFHTASK	268	DSTCBMWT	TCB ミスマッチ待ち時間
DFHTASK	279	DSMMSCWT	MVS™ ストレージ制約待ち時間
DFHTASK	281	MAXSTDLY	CICS SSL TCB 遅延時間
DFHTASK	282	MAXXTDLY	CICS XP TCB 遅延時間

表 *1.* パフォーマンス・クラスの待機 (中断) フィールド (続き)

グループ名	フィールド **ID**	フィールド名	説明
DFHTASK	283	MAXTTDLY	CICS JVM サーバー・スレッド TCB 遅延時間
DFHTASK	285	PTPWAIT	3270 ブリッジ・パートナー待ち時間
DFHSOCK	299	SOOIOWT	アウトバウンド・ソケット入出力待ち時間
DFHSOCK	300	ISIOWTT	IS 入出力待ち時間
DFHSOCK	319	ISALWTT	IPIC セッション割り振り待ち時間
DFHTERM	343	TCALWTT	MRO、LU6.1、および LU6.2 セッション割り振り待ち時間
DFHDATA	396	WMQGETWT	MQ GETWAIT 待ち時間
DFHTASK	401	JVMTHDWT	JVM サーバーのスレッド待ち時間。これは Liberty JVM サーバーには適用されません。
DFHDEST	403	TDILWTT	一時データ区画内ロック待ち時間
DFHDEST	404	TDELWTT	一時データ区画外ロック待ち時間
DFHFILE	426	FCXCWTT	VSAM 制御間隔の排他制御に対するファイル制御待ち時間
DFHFILE	427	FCVSWTT	ファイル制御の VSAM ストリング待ち時間
DFHTASK	429	DSAPTHWT	ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間
DFHTASK	475	ASFTCHWT	EXEC CICS FETCH の待ち時間
DFHTASK	476	ASRNATWT	EXEC CICS RUN TRANSID 接続待ち時間

トランザクションの応答時間

パフォーマンス・データ・フィールド 006 (停止時刻) からパフォーマンス・データ・フィールド 005 (開始時刻) を引くと、内部の CICS 応答時間を計算できます。

図 1 に、ディスパッチ時間、中断時間、および CPU 時間と応答時間の関係を示します。

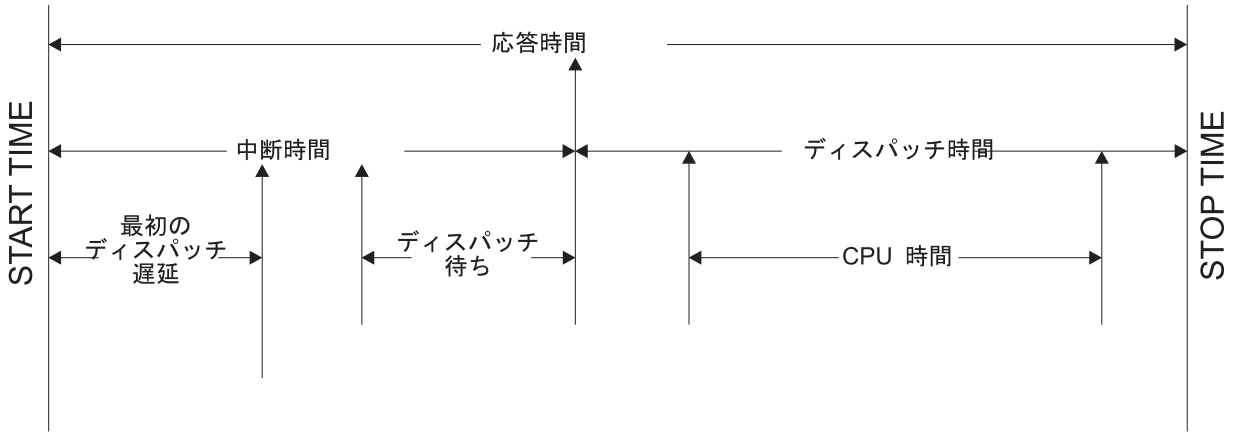

図 *1.* 応答時間の関係

トランザクション・ディスパッチ時間と CPU 時間

トランザクションの合計ディスパッチ時間のフィールド USRDISPT (グループ DFHTASK のフィールド 007) は、タスクが実行されている各 CICS TCB において、ユーザー・タスクが CICS ディスパッチャー・ドメインでディスパッチされている間に経過した時間の合計を示します。

トランザクションの合計 CPU 時間フィールド USRCPUT、グループ DFHTASKのフィールド 008 は、CICS ディスパッチャー・ドメインによって、タスクが実行されている各 CICS TCB で、ユーザー・タスクがディスパッチされている間のプロセッサー時間の合計です。タスクが専用プロセッサーで実行されていた場合は、このフィールドの一部が、専用プロセッサーに対する相対的な汎用プロセッサーの速度を反映するように正規化されている可能性があります。正規化プロセスについては、CICS トランザクションとハードウェア・リソースの関連付けを参照してください。

どちらのフィールドの場合も、フィールド内に記録されたレコードは、現在の CICS リリースの CICS ディスパッチャーで管理されているどの TCB モードにでも関連付けることができます。これには、L8 モード TCB などのオープン TCB、および QR TCB などの非オープン TCB が含まれます。なお、CICS のリリースごとに、(特にオープン TCB モードの場合は) 新しい TCB モードが追加されたり、廃止された TCB モードが除去されたりすることがあるため、注意してください。現行リリース資料のパフォーマンス・データ・フィールド記述を常にチェックし、どの TCB モードが適用可能かを参照する必要があります。フィールド記述については、DFHTASK グループ で説明しています。

QR TCB の累積されたディスパッチ時間に対する、累積された CPU 時間のトランザクション比率 (CPU/DISP 比率) を計算する場合、グループ DFHTASK のフィールド 255 (QRDISPT) および 256 (QRCPUT) を使用します。 これらのフィールドでは、QR TCB のみで、ユーザー・タスクがディスパッチされている間の経過時間およびプロセッサー時間が示されます。

個別のタスクの CPU/DISP 比率は常に、CICS 領域の他のアクティビティーのコンテキストで考慮されなければなりません。サンプル統計プログラム DFH0STAT のディスパッチャー TCB モード・レポート (ディスパッチャー TCB モード・レポートを参照) には、CICS 領域全体における QR TCB の CPU/DISP 率の計算が含まれています。

トランザクション待ち (中断) 時間

CMF パフォーマンス・クラス・レコードは、トランザクション中断 (待ち) 時間を個別のデータ・フィールドに細かく分類して提供します。これらを使用して、各種の待ち時間を計算できます。

5 ページの表 2 に示すパフォーマンス・データ・フィールドでは、特定のタイプの入出力操作の待機に費やした経過時間を記録します。例えば、フィールド 009 は、端末入出力待ちの経過時間を記録します。

経過時間には、入出力操作の時間、アクセス方式が未解決イベント制御ブロックを完了する間の時間、およびその後の、待機中の CICS トランザクションが再ディスパッチされるまでの時間が含まれます。

表 2. パフォーマンス・クラスの待機 (中断) フィールド

グループ名	フィールド **ID**	フィールド名	説明
DFHTERM	009	TCIOWTT	端末入出力待ち時間
DFHJOUR	010	JCIOWTT	ジャーナル入出力待ち時間
DFHTEMP	011	TSIOWTT	一時記憶域入出力待ち時間
DFHFILE	063	FCIOWTT	ファイル入出力待ち時間
DFHTERM	100	IRIOWTT	領域内入出力待ち時間
DFHDEST	101	TDIOWTT	一時データ入出力待ち時間
DFHTASK	123	GNQDELAY	グローバル ENQ 遅延時間
DFHTASK	128	LMDELAY	ロック・マネージャー遅延時間
DFHTASK	129	ENQDELAY	ローカル ENQ 遅延時間
DFHTERM	133	LU61WTT	LU 6.1 入出力待ち時間
DFHTERM	134	LU62WTT	LU 6.2 入出力待ち時間
DFHFEPI	156	SZWAIT	FEPI 一時停止時間
DFHTASK	171	RMISUSP	リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) 中断時間
DFHFILE	174	RLSWAIT	RLS ファイル入出力待ち時間
DFHFILE	176	CFDTWAIT	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの入出力待ち時間
DFHSYNC	177	SRVSYWTT	カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーの同期点および再同期化待ち時間
DFHTEMP	178	TSSHWAIT	共用一時記憶域入出力待ち時間
DFHTASK	181	WTEXWAIT	EXEC CICS WAIT EXTERNAL 待ち時間
DFHTASK	182	WTCEWAIT	EXEC CICS WAITCICS および WAIT EVENT 待ち時間
DFHTASK	183	ICDELAY	間隔制御遅延時間
DFHTASK	184	GVUPWAIT	ディスパッチ可能待ち待ち時間
DFHDATA	186	IMSWAIT	IMS DBCTL 待ち時間
DFHDATA	187	DB2RDYQW	Db2 作動可能キュー待ち時間
DFHDATA	188	DB2CONWT	Db2 接続時間
DFHTASK	191	RRMSWAIT	RRMS/MVS 未確定待ち時間
DFHTASK	192	RQRWAIT	要求受信側待ち時間
DFHTASK	193	RQPWAIT	要求プロセッサー待ち時間
DFHTASK	195	RUNTRWTT	CICS BTS 実行プロセス/アクティビティー同期待ち時間
DFHSYNC	196	SYNCDLY	同期点遅延時間
DFHSOCK	241	SOIOWTT	インバウンド・ソケット入出力待ち時間
DFHTASK	247	DSCHMDLY	CICS TCB モード変更遅延時間

表 2. パフォーマンス・クラスの待機 (中断) フィールド (続き)

グループ名	フィールド ID	フィールド名	説明
DFHTASK	250	MXTOTDLY	CICS L8 および L9 モード・オープン TCB 遅延時間
DFHTASK	254	JVMSUSP	JVM 中断時間
DFHTASK	268	DSTCBMWT	TCB ミスマッチ待ち時間
DFHTASK	279	DSMMSCWT	MVS ストレージ制約待ち時間
DFHTASK	281	MAXSTDLY	CICS SSL TCB 遅延時間
DFHTASK	282	MAXXTDLY	CICS XP TCB 遅延時間
DFHTASK	283	MAXTTDLY	CICS JVM サーバー・スレッド TCB 遅延時間
DFHTASK	285	PTPWAIT	3270 ブリッジ・パートナー待ち時間
DFHSOCK	299	SOOIOWT	アウトバウンド・ソケット入出力待ち時間
DFHSOCK	300	ISIOWTT	IS 入出力待ち時間
DFHSOCK	319	ISALWTT	IPIC セッション割り振り待ち時間
DFHTERM	343	TCALWTT	MRO、LU6.1、および LU6.2 セッション割り振り待ち時間
DFHDATA	396	WMQGETWT	MQ GETWAIT 待ち時間
DFHTASK	401	JVMTHDWT	JVM サーバーのスレッド待ち時間。これは Liberty JVM サーバーには適用されません。
DFHDEST	403	TDILWTT	一時データ区画内ロック待ち時間
DFHDEST	404	TDELWTT	一時データ区画外ロック待ち時間
DFHFILE	426	FCXCWTT	VSAM 制御間隔の排他制御に対するファイル制御待ち時間
DFHFILE	427	FCVSWTT	ファイル制御の VSAM ストリング待ち時間
DFHTASK	429	DSAPTHWT	ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間
DFHTASK	475	ASFTCHWT	EXEC CICS FETCH の待ち時間
DFHTASK	476	ASRNATWT	EXEC CICS RUN TRANSID 接続待ち時間

7 ページの図 2 に、典型的なトランザクション待ち時間フィールドと、トランザクションの中断時間、ディスパッチ時間、プロセッサー、およびディスパッチ待ち時間フィールドとの間の関係の一例を示します。 トランザクションには、中断時間という期間があります。これは、ディスパッチおよびプロセッサー時間の 2 つの期間の間の時間です。 中断時間の期間は、関連する待ち時間をすべて合計したものに等しくなります。 中断時間の期間には、ディスパッチ待ちが含まれます。これは、中断時間が終了し、ディスパッチおよびプロセッサー時間が開始するときに終了します。

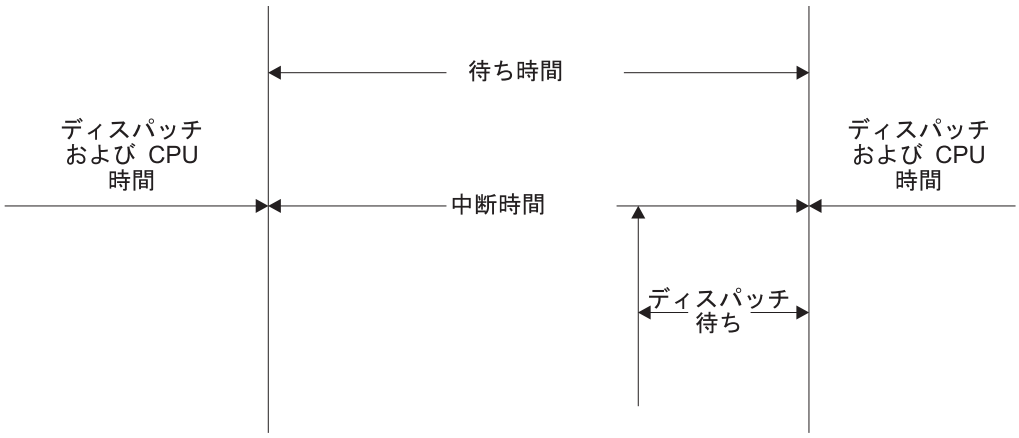

図 2. 待ち (中断) 時間の関係

CMF 中断時間および待ち時間の測定を使用して、中断時間に関する正確な計算を行うことができます。例えば、合計入出力待ち時間を計算するには、以下に示すフィールドの値を加算します。

- 端末管理入出力待ち
- 一時記憶域入出力待ち
- 共用一時記憶域入出力待ち
- 一時データ入出力待ち
- ジャーナル (MVS ロガー) 入出力待ち
- ファイル制御入出力待ち
- RLS ファイル入出力待ち
- カップリング・ファシリティー・データ・テーブル入出力待ち
- インバウンド・ソケット入出力待ち
- IS 入出力待ち時間
- アウトバウンド・ソケット入出力待ち
- リージョン間 (MRO) 入出力待ち
- LU 6.1 TC 入出力待ち
- LU 6.2 TC 入出力待ち
- FEPI 入出力待ち

他の待機の合計時間を計算するには、以下に示すフィールドの値を加算します。

- 最初のディスパッチ遅延。このフィールドには、MXT および TRANCLASS の「最初のディスパッチ遅延」フィールドが含まれています。
- ローカル ENQ 遅延
- グローバル ENQ 遅延
- 間隔制御遅延
- ロック・マネージャー遅延
- 外部待機待ち
- EXEC CICS WAITCICS および EXEC CICS WAIT EVENT 待ち
- CICS BTS 実行同期待ち

- CFDT サーバー同期待ち
- 要求受信側待ち時間
- 要求プロセッサー待ち時間
- 同期点遅延時間
- CICS L8 および L9 モード・オープン TCB 遅延時間
- CICS SSL TCB 遅延時間
- CICS JVM サーバー・スレッド TCB 遅延時間
- CICS XP TCB 遅延時間
- CICS TCB モード変更遅延時間
- RRMS/MVS 待ち
- 3270 ブリッジ・パートナー待ち
- TCB ミスマッチ待ち時間
- JVM サーバー・スレッド待ち時間
- MVS ストレージ制約待ち時間
- 区画内一時データ・ロック待ち時間
- 区画外一時データ・ロック待ち時間
- VSAM 制御間隔の排他制御に対するファイル制御待ち時間
- ファイル制御の VSAM ストリング待ち時間
- IPIC セッション割り振り待ち時間
- MRO、LU6.1、および LU6.2 セッション割り振り待ち時間
- ディスパッチ可能待ち待ち
- ディスパッチャー割り振り pthread 待ち時間
- EXEC CICS FETCH の待ち時間
- EXEC CICS RUN TRANSID 接続待ち時間

注: 再ディスパッチ待ち時間 (DISPWTT) をその他の待ち時間の合計の計算に含めないでください。 5 ページの表 2 にリストしている経過時間には、未解決イベント制御ブロックを完了するための時間と、その後に待機中の CICS トランザクションが再ディスパッチされるまでの時間が既に含まれているためです。

キャプチャーされていない待機時間を判別するには、以下の計算を使用します。

```
Uncaptured wait time =  (Suspend - (total I/O wait time + total other wait time))
```

CMF パフォーマンス・クラス・データは、以下の重要なトランザクション・タイミング測定値も提供します。

- プログラム・ロード時間。これは、トランザクションによって呼び出されるプログラムの、プログラム・フェッチ時間 (ディスパッチ時間) です。 9 ページの『プログラム・ロード時間』を参照してください。
- 例外待ち時間。これは、CMF 例外クラス・レコードによって見積もられる、例外状態からの累積時間です。詳細については、例外クラス・データ: データ・フィールドのリストを参照してください。

- RMI 経過時間。これは、リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を使用してトランザクションが起動したすべてのリソース・マネージャーで、トランザクションが費やした経過時間です。 10 ページの『RMI 経過時間および中断時間』を参照してください。
- JVM 経過時間。これは、トランザクションが起動した Java™ プログラム用の Java 仮想マシン (JVM) でトランザクションが費やした経過時間です。 10 ページの『JVM 経過時間および中断時間』を参照してください。
- JVM 初期設定経過時間。これは、トランザクションが起動したすべての Java プログラム用の Java 仮想マシン (JVM) 環境の初期設定にトランザクションが費やした経過時間です。
- 同期点経過時間。これは、トランザクションが同期点の処理に費やした経過時間です。 11 ページの『同期点経過時間』を参照してください。

プログラム・ロード時間

プログラム・ロード時間は、トランザクションによって呼び出されるプログラムの、プログラム・フェッチ時間 (ディスパッチ時間) です。

図 3 は、プログラム・ロード時間 (グループ DFHPROG のフィールド ID 115) とディスパッチ時間および中断時間 (グループ DFHTASK のフィールド ID 7 および 14) の間の関係を示したものです。

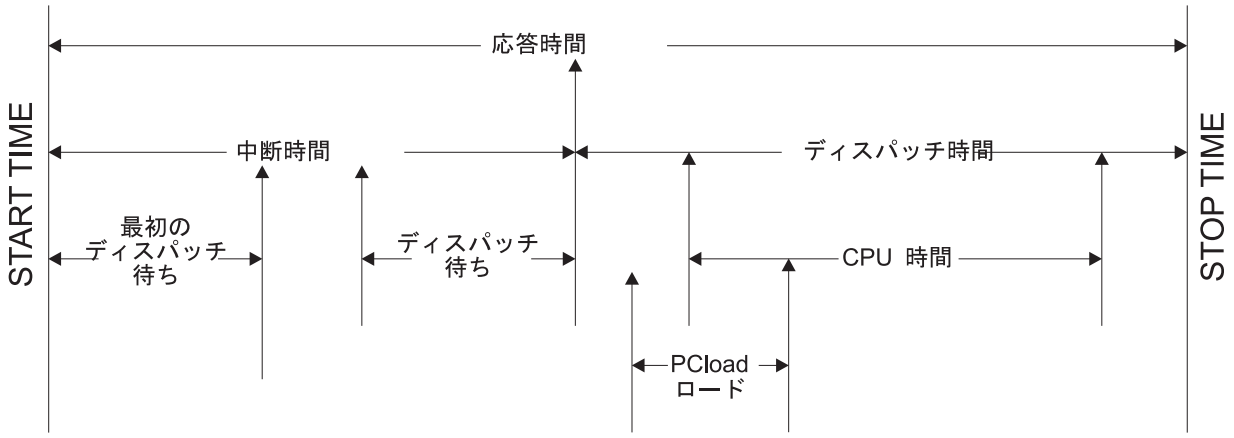

図 *3.* プログラム・ロード時間

トランザクションの応答時間は、トランザクション開始時刻からトランザクション停止時刻までの時間の合計です。 応答時間は、さらに以下の 2 つの期間に分割できます。

- 中断時間。

  中断時間には、最初のディスパッチ遅延が含まれます。これは、トランザクション開始時刻に始まり、中断時間の途中で終了します。 中断時間にはディスパッチ待ちも含まれます。これは、中断時間の途中で始まり、中断時間が終了してディスパッチ時間が開始したときに終了します。
- ディスパッチ時間。

ディスパッチ時間には CPU 時間が含まれます。これはディスパッチ時間の開始後しばらくして開始し、ディスパッチ時間が終了する少し前に終了します。 この図では、ディスパッチ時間にもプログラム・ロード時間が含まれています。プログラム・ロード時間は、ディスパッチ時間の開始後に開始し、CPU 時間の最初の部分にオーバーラップします。

RMI 経過時間および中断時間

RMI 経過時間フィールドおよび中断時間フィールドからは、トランザクションが CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やす時間に関する見通しが得られます。

図 4 は、RMI 経過時間 (グループ DFHTASK のフィールド ID 170) と中断時間 (グループ DFHTASK のフィールド ID 171) の間の関係を表示したものです。

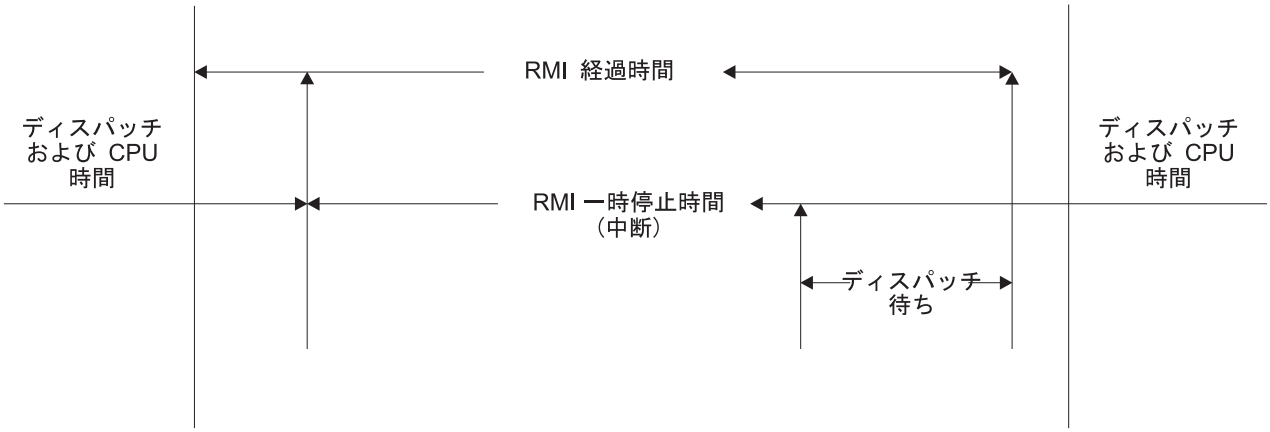

図 *4. RMI* 経過時間および中断時間

RMI 経過時間は、その開始時にディスパッチおよび CPU 時間の期間の一部を含んでいます。 この期間は、RMI 経過時間よりも前に始まります。 ディスパッチ時間および CPU 時間が終了すると、RMI 一時停止時間が開始します。RMI 一時停止時間は、その終了時にディスパッチ待ちを含んでいます。 ディスパッチ待ちが終了したときに、もう 1 つのディスパッチおよび CPU 時間の期間が開始します。 その後間もなくして RMI 経過時間は終了しますが、ディスパッチおよび CPU 時間はまだ続いています。 したがって、RMI 経過時間には、ディスパッチおよび CPU 時間の 2 つの期間の一部、および RMI 一時停止時間という割り込み期間が含まれます。

Db2 待ち、Db2 接続待ち、および Db2 readyq 待ち時間フィールドは、IMS 待ち、および MQ GETWAIT 待ち時間フィールドと共に RMI 中断時間に含まれます。

JVM 経過時間および中断時間

JVM 経過時間フィールドおよび中断時間フィールドは、トランザクションが Java 仮想マシン (JVM) で費やす時間に関する見通しを与えてくれます。

JVMTIME および JVMSUSP フィールド

JVM 経過時間フィールド JVMTIME (グループ名 DFHTASK、フィールド ID: 253) および JVM 中断時間フィールド JVMSUSP (グループ名 DFHTASK、フィールド ID: 254) を、他の CMF タイミング・フィールドと一緒に使用して計算を行う場合には注意が必要です。 これは、JVM 時間フィールド内のパフォーマンス・クラス・レコード内の他の CMF タイミング・フィールドを二重にアカウントする可能性があるからです。例えば、トランザクションによって起動された Java アプリケーション・プログラムが、CICS クラス対応の Java API (JCICS) を使用してファイル読み取り (非 RLS) 要求を発行した場合、ファイル入出力待ち時間は JVM 中断時間フィールドだけでなく、ファイル入出力待ち時間フィールド (グループ名 DFHFILE、フィールド ID: 063)、およびトランザクション中断時間フィールド (グループ名 DFHTASK、フィールド ID: 014) の両方にも含まれます。

JCICS 要求

ユーザー・タスクによって発行される CICS 対応の Java API (JCICS) 要求の数は、CICS OO 基礎クラス要求カウント・フィールド (グループ名: DFHCICS、フィールド ID: 025) に含まれます。

同期点経過時間

同期点経過時間。これは、トランザクションが同期点の処理に費やした経過時間です。

図 5 は、同期点経過時間 (グループ DFHSYNC のフィールド 173) と中断時間 (グループ DFHTASK のフィールド 14) の間の関係を表示したものです。

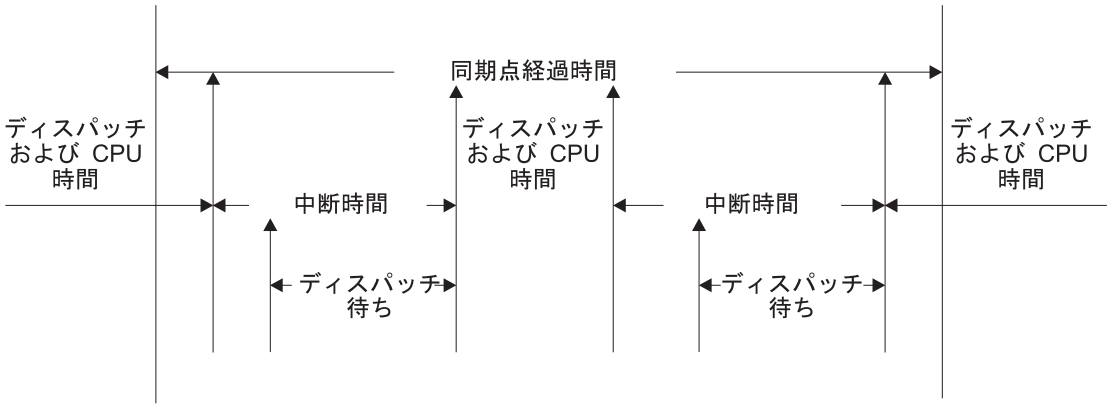

図 *5.* 同期点経過時間

同期点経過時間は、ディスパッチおよび CPU 時間の期間の間で開始します。その後に中断時間の期間が開始します。この期間は、その終了時にディスパッチ待ち時間を含みます。 ディスパッチ待ちおよび中断時間が終了したときに、もう 1 つのディスパッチおよび CPU 時間の期間が発生します。この期間が終了したときに、もう 1 つの中断時間の期間が開始します。この期間にはもう 1 つのディスパッチ待ちが含まれます。 このディスパッチ待ちおよび中断時間が終了すると、ディスパッチおよび CPU 時間のもう 1 つの期間が開始します。 その後まもなくして同期

点経過時間は終了しますが、ディスパッチおよび CPU 時間の期間はまだ続いています。したがって、この例の同期点経過時間には、完了した中断時間の期間が 2 つ含まれることになります。

ストレージ占有カウント

占有カウントは、使用中のユーザー・タスク・ストレージ対経過時間の曲線の下の面積です。

測定単位は「バイト・単位」です。ここで、「単位」は 1024 マイクロ秒、すなわち 1.024 ミリ秒です。 *ms* をミリ秒とした場合、例えば 125 ミリ秒の間 256 バイトを占有するユーザー・タスクは、次のようにして見積もられます。

125 / 1.024 *ms* = 122 単位 * 256 = 31 232 バイト・単位。

注: 以下の計算で「開始時刻」と「停止時刻」はすべて、それぞれ 8 バイトの開始/停止時刻フィールドの中央の 4 バイトを指します。開始時刻または停止時刻のビット 47 は、16 マイクロ秒という単位を表します。

応答時間を計算し、マイクロ秒単位に変換するには、次のようにします。
応答時間 = ((停止時刻 - 開始時刻) * 16)
1024 マイクロ秒「単位」の数を計算するには、次のようにします。
単位数 = (応答 / 1024)
または
単位数 = ((停止時刻 - 開始時刻) / 64)
使用された平均のユーザー・タスク・ストレージをストレージ占有カウントから計算するには、次のようにします。
使用された平均ユーザー・タスク・ストレージ = (ストレージ占有 / 単位数)

毎秒当たりの単位数を計算するには、次のようにします。
毎秒当たりの単位数 = (1 000 000 / 1024) = 976.5625
応答時間を秒で計算するには、次のようにします。
応答時間 = (((停止時刻 - 開始時刻) * 16) / 1 000 000)

ユーザー・タスクの存続中、CICS は、以下の時点のストレージ占有を測定、計算、および累積します。

- GETMAIN が現在のユーザー・ストレージ値を増やす前
- FREEMAIN が現在のユーザー・ストレージ値を減らす前
- パフォーマンス・レコードがバッファーに移動される直前

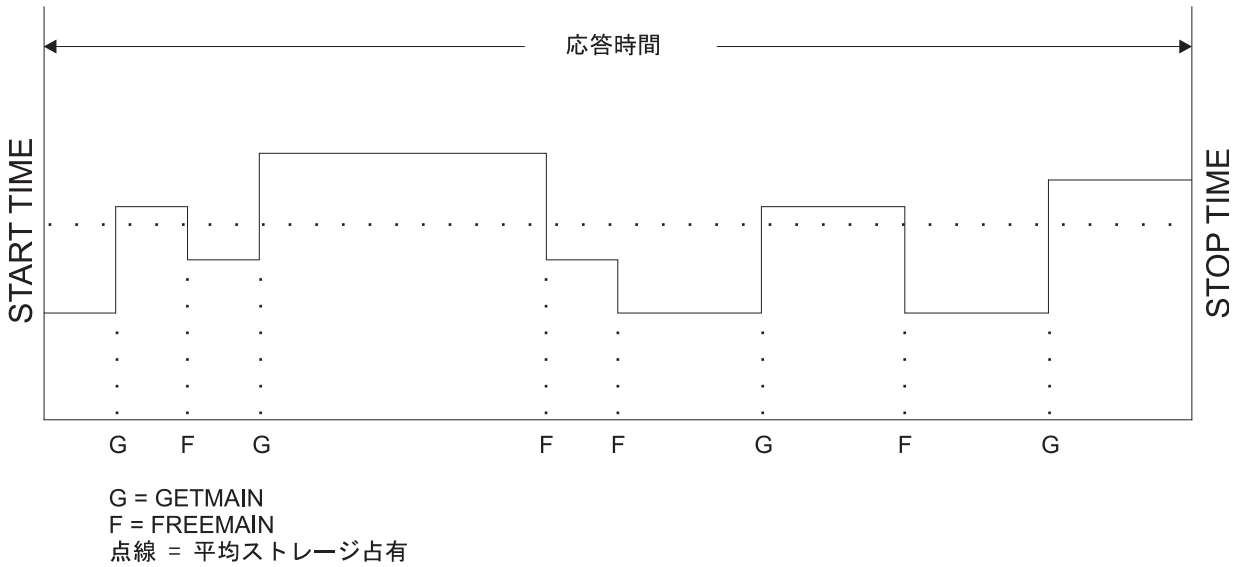

図 *6.* ストレージ占有

プログラム・ストレージ

使用中のプログラム・ストレージのレベルは、LOAD、LINK、および XCTL イベントで、参照されているプログラムのサイズ (バイト) だけ増やされ、RELEASE または RETURN イベントで減らされます。XCTL イベントでは、現在使用中のプログラム・ストレージも、XCTL を発行するプログラムのサイズだけ減らされます。それは、そのプログラムはもう不要になったからです。

14 ページの図 7 は、ユーザー・タスクが使用中のプログラム・ストレージの最大量を示す、最高水準点データ・フィールド間の関係を示したものです。PCSTGHWM フィールド (ID 087) は、16 MB よりも上および下の両方でタスクが使用中のプログラム・ストレージの最大量を示します。 PC31AHWM (139) および PC24BHWM (108) フィールドは、PCSTGHWM のサブセットであり、それぞれ 16MB よりも上および下で使用中の最大量を示します。 また、サブセット・フィールドは、各 CICS 動的ストレージ域 (DSA) でタスクが使用中のストレージの最大量を示しています。

注**:**

1. スーパーセット内のすべてのサブセットの値を合計しても、スーパーセットの値と等しくない場合があります。 例えば、PC31AHWM の値と PC24BHWM の値の合計は、PCSTGHWM の値ではない可能性があります。これは、ユーザー・タスクが獲得するさまざまなタイプのプログラム・ストレージのピークは、必ずしも同時に発生するわけではないからです。
2. タスクが同じプログラムを何回もロードする場合は、プログラム・ストレージ・データ・フィールドは、タスクが使用するプログラム・ストレージの真の最高水準点を反映しない可能性があります。 これらのフィールドは、LOAD コマンドが発行されるたびに増やされますが、タスクが既にこのプログラムをロードしている場合は、このプログラムの既存のコピーが使用されます。つまり、ストレー

ジにはそのプログラムのコピーが 1 つだけ存在していることになります。 このため、同じプログラムを繰り返しロードするタスクに対して、PCSTGHWM、PC24BHWM、 PC31RHWM、 PC31AHWM、 PC31CHWM、 PC24CHWM、PC24SHWM、 PC31SHWM、および PC24RHWM の各フィールド内のデータを使用する場合は、注意が必要です。

3. 出口プログラムを無効にすると、プログラムを解放することができ、プログラム・ストレージ・フィールドが減少する可能性があります。現行タスクの存続時間内にプログラムがリンクされなかった場合、プログラム・ストレージ・フィールドが不必要に減分されます。これは真の値を取得しない可能性があることを意味し、注意して続行する必要があります。

最高水準点フィールドおよびプログラム・ストレージ・フィールドについては、グループ DFHSTOR 内のパフォーマンス・データで詳細に説明しています。

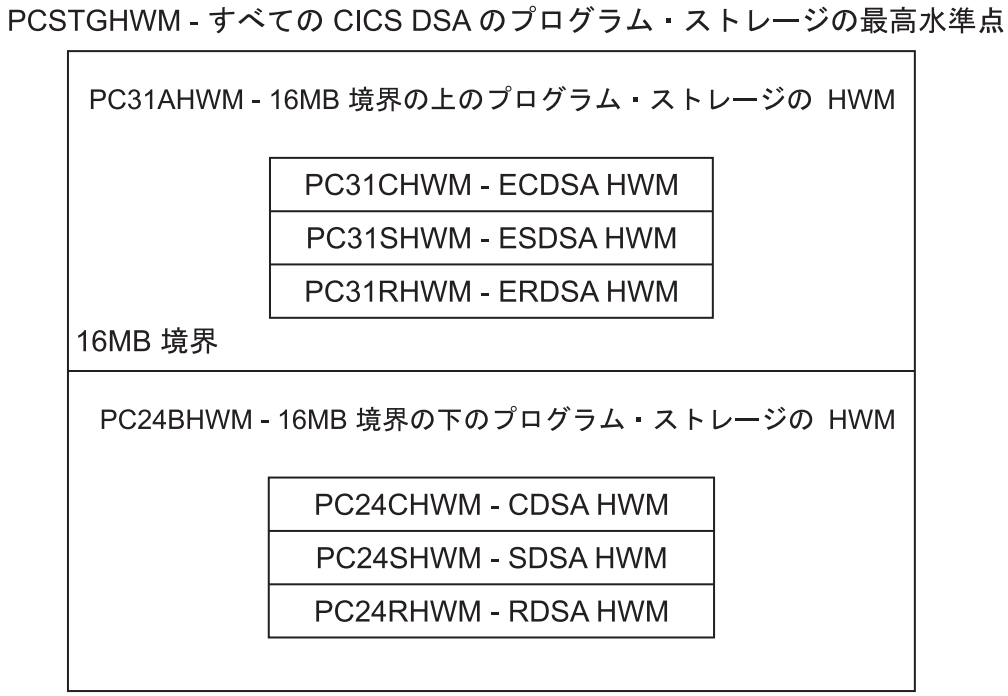

図 7. 最高水準点プログラム・ストレージ・データ・フィールド間の関係

第 2 章 パフォーマンス・クラス・データ: データ・フィールドのリスト

このセクションでは、パフォーマンス・クラス・データをグループ名の順にリストします。 グループ名は常に、辞書項目の CMODNAME フィールドに含まれています。

ユーザー・タスクは 1 つ以上のパフォーマンス・クラス・モニター・レコードで表すことができますが、これは MCT イベント・モニター・オプション DELIVER またはシステム初期設定パラメーター `MNCONV=YES` または `MNSYNC=YES` のどちらが選択されていたかによって異なります。 以下の説明では、「ユーザー・タスク」という用語は、特に断らない限り、「パフォーマンス・クラス・レコードで表されるトランザクションの一部または全体」を意味します。

- 『グループ DFHCBTS 内のパフォーマンス・データ』
- 17 ページの『グループ DFHCHNL 内のパフォーマンス・データ』
- 18 ページの『グループ DFHCICS 内のパフォーマンス・データ』
- 25 ページの『グループ DFHDATA 内のパフォーマンス・データ』
- 26 ページの『グループ DFHDEST 内のパフォーマンス・データ』
- 27 ページの『グループ DFHDOCH 内のパフォーマンス・データ』
- 27 ページの『グループ DFHFEPI 内のパフォーマンス・データ』
- 28 ページの『グループ DFHFILE 内のパフォーマンス・データ』
- 31 ページの『グループ DFHJOUR 内のパフォーマンス・データ』
- 31 ページの『グループ DFHMAPP 内のパフォーマンス・データ』
- 32 ページの『グループ DFHPROG 内のパフォーマンス・データ』
- 34 ページの『グループ DFHRMI 内のパフォーマンス・データ』
- 35 ページの『グループ DFHSOCK 内のパフォーマンス・データ』
- 37 ページの『グループ DFHSTOR 内のパフォーマンス・データ』
- 41 ページの『グループ DFHSYNC 内のパフォーマンス・データ』
- 42 ページの『グループ DFHTASK 内のパフォーマンス・データ』
- 61 ページの『グループ DFHTEMP 内のパフォーマンス・データ』
- 62 ページの『グループ DFHTERM 内のパフォーマンス・データ』
- 65 ページの『グループ DFHWEBB 内のパフォーマンス・データ』

グループ DFHCBTS 内のパフォーマンス・データ

DFHCBTS グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

200 (TYPE-C, 'PRCSNAME', 36 BYTES)
ユーザー・タスクがその一部を形成していた、CICS ビジネス・トランザクション・サービス (BTS) プロセスの名前。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

201 (TYPE-C, 'PRCSTYPE', 8 BYTES)
ユーザー・タスクがその一部を形成していた CICS BTS プロセスのプロセス・タイプ。

202 (TYPE-C, 'PRCSID', 52 BYTES)
ユーザー・タスクが実装した CICS BTS ルート・アクティビティーの CICS 割り当て ID。

203 (TYPE-C, 'ACTVTYID', 52 BYTES)
ユーザー・タスクが実装した CICS BTS アクティビティーの CICS 割り当て ID。

204 (TYPE-C, 'ACTVTYNM', 16 BYTES)
ユーザー・タスクが実装した CICS BTS アクティビティーの名前。

205 (TYPE-A, 'BARSYNCT', 4 BYTES)
プロセスまたはアクティビティーを同期させて実行するためにユーザー・タスクが行った CICS BTS プロセス実行要求またはアクティビティー実行要求の数。

206 (TYPE-A, 'BARASYCT', 4 BYTES)
プロセスまたはアクティビティーを非同期で実行するためにユーザー・タスクが行った CICS BTS プロセス実行要求またはアクティビティー実行要求の数。

207 (Type-A, 'BALKPACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス・リンク要求、またはアクティビティー・リンク要求の数。

208 (TYPE-A, 'BADPROCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス定義要求の数。

209 (TYPE-A, 'BADACTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS アクティビティー定義要求の数。

210 (TYPE-A, 'BARSPACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス・リセット要求およびアクティビティー・リセット要求の数。

211 (TYPE-A, 'BASUPACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス中断要求またはアクティビティー中断要求の数。

212 (TYPE-A, 'BARMPACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス再開要求またはアクティビティー再開要求の数。

213 (TYPE-A, 'BADCPACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS アクティビティー削除要求、プロセス取り消し要求、またはアクティビティー取り消し要求の数。

214 (TYPE-A, 'BAACQPCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス獲得要求またはアクティビティー獲得要求の数。

215 (Type-A, 'BATOTPCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS プロセス要求およびアクティビティー要求の総数。

216 (TYPE-A, 'BAPRDCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したプロセス・データ・コンテナーに対する、コンテナーの CICS BTS 削除、取得、移動、または挿入要求の数。

217 (TYPE-A, 'BAACDCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した現在のアクティビティー・データ・コンテナーに対する、コンテナーの CICS BTS 削除、取得、移動、または挿入要求の数。

218 (Type-A, 'BATOTCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したプロセス・コンテナーおよびアクティビティー・コンテナーの CICS BTS 削除、取得、移動、または挿入要求の総数。

219 (TYPE-A, 'BARATECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS 取り出し - 再接続イベント要求の数。

220 (TYPE-A, 'BADFIECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS 入力定義イベント要求の数。

221 (TYPE-A, 'BATIAECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS DEFINE TIMER EVENT、CHECK TIMER EVENT、DELETE TIMER EVENT、および FORCE TIMER EVENT 要求の数。

222 (TYPE-A, 'BATOTECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS BTS イベント関連要求の総数。

グループ DFHCHNL 内のパフォーマンス・データ

DFHCHNL グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

321 (TYPE-A, 'PGTOTCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したチャネル・コンテナーに対する CICS 要求の数。

322 (TYPE-A, 'PGBRWCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したチャネル・コンテナーに対する CICS ブラウズ要求の数。

323 (TYPE-A, 'PGGETCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したチャネル・コンテナーに対する GET CONTAINER および GET64 CONTAINER 要求の数。

324 (TYPE-A, 'PGPUTCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したチャネル・コンテナーに対する PUT CONTAINER および PUT64 CONTAINER 要求の数。

325 (TYPE-A, 'PGMOVCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したチャネル・コンテナーに対する MOVE CONTAINER 要求の数。

326 (TYPE-A, 'PGGETCDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したすべての GET CONTAINER CHANNEL および GET64 CONTAINER CHANNEL コマンドのコンテナー内のデータの全長 (バイト)。

327 (TYPE-A, 'PGPUTCDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したすべての PUT CONTAINER CHANNEL および PUT64 CONTAINER CHANNEL コマンドのコンテナー内のデータの全長 (バイト)。

328 (TYPE-A, 'PGCRECCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、チャネル・コンテナーに対する MOVE、PUT CONTAINER、および PUT64 CONTAINER 要求によって作成されたコンテナーの数。

329 (TYPE-A, 'PGCSTHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに割り振られた、バイト単位のコンテナー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

グループ DFHCICS 内のパフォーマンス・データ

DFHCICS グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

005 (TYPE-T, 'START', 8 BYTES)
測定インターバルの開始時刻。以下のいずれかの時刻になります。

- ユーザー・タスクが接続された時刻。
- MCT ユーザー・イベント・モニター・ポイント DELIVER オプション、またはモニター・オプションである MNCONV、MNSYNC、または FREQUENCY をサポートして、データ記録が最近リセットされた時刻。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

注: 応答時間 = STOP - START。 詳しくは、トランザクションの応答時間を参照してください。

006 (TYPE-T, 'STOP', 8 BYTES)
測定インターバルの終了時刻。以下のいずれかの時刻になります。

- ユーザー・タスクが切り離された時刻。
- MCT ユーザー・イベント・モニター・ポイント DELIVER オプション、またはモニター・オプションである MNCONV、MNSYNC、または FREQUENCY をサポートして、データ記録が完了した時刻。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

注: 応答時間 = STOP - START。 詳しくは、トランザクションの応答時間を参照してください。

025 (TYPE-A, 'CFCAPICT', 4 BYTES)
CICS OO 基礎クラス要求の数。ユーザー・タスクが発行した CICS (JCICS) クラスの Java API を含む。

089 (TYPE-C, 'USERID', 8 BYTES)
タスク作成時のユーザー識別。 この識別は、接続時刻のセキュリティーが使用可能になっている MRO または APPC リンクを経由して ATTACH 要求を受け取った結果として作成されたタスクの、リモート・ユーザー識別であることもあります。

103 (TYPE-S, 'EXWTTIME', 12 BYTES)
例外状態に対する累積データ。 クロックのタイマー・コンポーネントには、例外状態でユーザーが待機していた間の総経過時間が含まれています。 期間カウントは、このタスクに対して発生した例外状態の数に等しくなります。 例外状態についての詳細は、例外クラス・データ: データ・フィールドのリストを参照してください。 クロックについての詳細は、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

注: パフォーマンス・クラス・データ・フィールド「EXWTTIME」は、例外クラスが非アクティブであっても、例外条件が検出されると更新されます。

112 (TYPE-C, 'RTYPE', 4 BYTES)
パフォーマンス・レコード・タイプ (下位バイト 3)

C 端末会話のためのレコード出力

D ユーザー EMP DELIVER 要求のレコード出力

F 長時間実行トランザクションのレコード出力

S 同期点のレコード出力

T タスク終了のレコード出力

130 (TYPE-C, 'RSYSID', 4 BYTES)
このトランザクションの動的または静的な経路指定先であるリモート・システムの名前 (システム ID)。

このフィールドには、CRTE ルーティング・トランザクションを使用したときにこのトランザクションの経路指定先となったリモート・システムの接続名 (システム ID) も含まれています。このフィールドは、トランザクションのルーティング・セッションを確立した、または取り消した CRTE トランザクションの場合はヌルになります。

注: トランザクションが経路指定されなかった場合、またはローカルで経路指定された場合、このフィールドはヌルに設定されます。 プログラム名 (フィールド 71) も参照してください。

131 (TYPE-A, 'PERRECNT', 4 BYTES)
CICS モニター機能 (CMF) が、ユーザー・タスク用に書き込んだパフォーマンス・クラス・レコードの数。

167 (TYPE-C, 'SRVCLASS', 8 BYTES)
このトランザクションの z/OS® ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・クラス。 このフィールドは、アクティブの z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・ポリシーで、CICS サブシステムに対してトランザクション分類規則が定義されていない場合、またはトランザクションが別の CICS 領域において WLM で分類されていた場合は、ヌルになります。

168 (TYPE-C, 'RPTCLASS', 8 BYTES)
このトランザクションの z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) レポート・クラス。 このフィールドは、アクティブの z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・ポリシーで、CICS サブシステムに対してトランザクション分類規則が定義されていない場合、またはトランザクションが別の CICS 領域において WLM で分類されていた場合は、ヌルになります。

351 (TYPE-C, 'OADID', 64 BYTES)
アダプターによって起点データに追加されたアダプター ID。タスクがアダプターを使用して開始されなかった場合、またはアダプターを使用して開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合は、このフィールドはブランクです。

352 (TYPE-C, 'OADATA1', 64 BYTES)
アダプターによって起点データに追加されたデータ。 タスクがアダプターを使用して開始されなかった場合、またはアダプターを使用して開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合は、このフィールドはブランクです。

353 (TYPE-C, 'OADATA2', 64 BYTES)
アダプターを使用して起点データに追加されたデータ。 タスクがアダプターを使用して開始されなかった場合、またはアダプターを使用して開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合は、このフィールドはブランクです。

354 (TYPE-C, 'OADATA3', 64 BYTES)
アダプターによって起点データに追加されたデータ。 タスクがアダプターを使用して開始されなかった場合、またはアダプターを使用して開始されたが、アダプターがこの値を設定しなかった場合は、このフィールドはブランクです。

359 (TYPE-C 'ONETWKID', 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信されたネットワーク ID。

360 (TYPE-C, 'OAPPLID', 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信された CICS 領域のアプリケーション ID (例えば、CWXN タスクが実行された領域)。

361 (TYPE-T, 'OSTART', 8 BYTES)
親タスク (例えば CWXN タスク) が開始された時刻。

362 (TYPE-P, 'OTRANNUM', 4 BYTES)
親タスクの数 (例、CWXN タスク)。

363 (TYPE-C, 'OTRAN', 4 BYTES)
親タスクのトランザクション ID (TRANSID) (例、CWXN タスク)。

364 (TYPE-C, 'OUSERID', 8 BYTES)
親タスクに応じて、例えば CWBA などからの発信 Userid-2 または Userid-1。

365 (TYPE-C, 'OUSERCOR', 64 BYTES)
発信ユーザー関係子。

366 (TYPE-C, 'OTCPSVCE', 8 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE の名前。

367 (TYPE-A, 'OPORTNUM', 4 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE によって使用されるポート番号。

369 (TYPE-A, 'OCLIPORT', 4 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの TCP/IP ポート番号。

370 (TYPE-A, 'OTRANFLG', 8 BYTES)
発信トランザクション・フラグ。これは、64 ビットのストリングで、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。

バイト 0

発信トランザクションのファシリティー・タイプ:

ビット **0**
なし (X'80')

ビット **1**
端末 (X'40')

ビット **2**
代理 (X'20')

ビット **3**
宛先 (X'10')

ビット **4**
3270 ブリッジ (X'08')

ビット **5**
予約

ビット **6**
予約

ビット **7**
予約

バイト 1

トランザクション識別情報:

ビット **0**
システム・トランザクション (x'80')

ビット **1**
ミラー・トランザクション (x'40')

ビット **2**
DPL ミラー・トランザクション (x'20')

ビット **3**
ONC/RPC 別名トランザクション (x'10')

ビット **4**
WEB 別名トランザクション (x'08')

ビット **5**
3270 ブリッジ・トランザクション (x'04')

ビット **6**
予約済み (x'02')

ビット **7**
CICS BTS 実行トランザクション

バイト 2

z/OS ワークロード・マネージャー要求 (トランザクション)。

バイト 3

トランザクション定義情報:

ビット **0**
タスク・データ・ロケーション = 下 (x'80')

ビット **1**
タスク・データ・キー = cics (x'40')

ビット **2**
分離 = いいえ (x'20')

ビット **3**
動的 = はい (x'10')

ビット **4** から **7**
予約

バイト **4**
発信トランザクションのタイプ:

X'01' なし
X'02' 端末
X'03' 一時データ
X'04' START
X'05' 端末関連の START
X'06' CICS Business Transaction Services (BTS) スケジューラー
X'07' トランザクション・マネージャー・ドメイン (XM) が実行するトランザクション
X'08' 3270 ブリッジ
X'09' ソケット・ドメイン
X'0A' CICS Web サポート (CWS)
X'0B' Internet Inter-ORB Protocol (IIOP)
X'0C' リソース・リカバリー・サービス (RRS) (Resource Recovery Services (RRS))
X'0D' LU 6.1 セッション
X'0E' LU 6.2 (APPC) セッション
X'0F' MRO セッション
X'10' 外部呼び出しインターフェース (ECI) セッション
X'11' IIOP ドメイン要求受信側
X'12' 要求ストリーム (RZ) インストア・トランスポート
X'13' IP 相互接続セッション
X'14' イベント
X'15' JVM サーバー
X'16' 非同期サービス・ドメイン (AS) - トランザクションの実行

バイト **5**
トランザクション状況情報。

バイト **6**
トランザクションの追跡の起点データ・タグ。

バイト **7**
リカバリー・マネージャー情報:

ビット **0**
未確定待機 = いいえ

ビット **1**
未確定アクション = コミット

ビット **2**
リカバリー・マネージャー - 未確定アクションで解決された UOW

ビット **3**
リカバリー・マネージャー - 中断

ビット **4**
リカバリー・マネージャー - 未中断

ビット **5**
リカバリー・マネージャー - 未確定障害

ビット **6**
リカバリー・マネージャー - リソース所有者の障害

ビット **7**
予約

371 (TYPE-C, 'OFCTYNME', 8 BYTES)
発信トランザクションのファシリティー名。 発信トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。トランザクション・ファシリティー・タイプ (存在する場合) は、発信トランザクション・フラグ OTRANFLG (370) フィールドのバイト 0 を使用して識別できます。

372 (TYPE-C, 'OCLIPADR', 40 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。

373 (TYPE-C, 'PHNTWKID', 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクの CICS システムのネットワーク ID。前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

374 (TYPE-C, 'PHAPPLID', 8 BYTES)
前のホップ・データからの APPLID。 これは、このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の前のタスクの CICS システムの APPLID です。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

375 (TYPE-T, 'PHSTART', 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクの開始時刻。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

376 (TYPE-P, 'PHTRANNO', 4 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのタスク番号。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

377 (TYPE-C, 'PHTRAN', 4 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのトランザクション ID (TRANSID)。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

378 (TYPE-A, 'PHCOUNT', 4 BYTES)
このタスクが関連付けられているタスクを開始するために、特定の CICS システムから別の CICS システムに要求が出された回数。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

402 (TYPE-A, 'EICTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS コマンドの総数。

405 (TYPE-A, 'TIASKTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した EXEC CICS ASKTIME コマンドの数。

406 (TYPE-A, 'TITOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した EXEC CICS ASKTIME、CONVERTTIME、および FORMATTIME コマンドの総数。

408 (TYPE-A, 'BFDGSTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS BIF DIGEST コマンドの総数。

409 (TYPE-A, 'BFTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した EXEC CICS BIF DEEDIT および BIF DIGEST コマンドの総数。

415 (TYPE-A, 'ECSIGECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した EXEC CICS SIGNAL EVENT コマンドの数。

416 (TYPE-A, 'ECEFOPCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって実行されたイベント・フィルター操作の数。

417 (TYPE-A, 'ECEVNTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによってキャプチャーされたイベント数。

418 (TYPE-A, 'ECSEVCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによってキャプチャーされた同期発行イベント数。

449 (TYPE-A, 'MPPRTXCD', 4 BYTES)
このタスクが超えたポリシー・タスク・ルールしきい値の数。しきい値を超えていない場合、またはタスクに適用されているタスク・ルールがない場合、このフィールドはすべてヌル (0x00 バイト) になります。

464 (TYPE-A, 'NCGETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクにより発行された EXEC CICS GET COUNTER コマンドおよび EXEC CICS GET DCOUNTER コマンドを満たすための名前付きカウンター・サーバーへの合計要求数。

466 (TYPE-A, 'MPSRECT', 4 BYTES)
タスクに関してポリシー・システム・ルールが評価された回数。

467 (TYPE-A, 'MPSRACT', 4 BYTES)
ポリシー・システム・ルールが TRUE と評価され、メッセージまたはイベントが起動した回数。システム・ルールが TRUE と評価されていない場合、このフィールドはすべてヌル (0x00 バイト) になります。

480 (TYPE-T, 'PTSTART', 8 BYTES)
タスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクの開始時刻。前のトランザクション・データについて詳しくは、直前のトランザクションのデータの特性を参照してください。

481 (TYPE-P, 'PTTRANNO', 4 BYTES)
タスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのタスク番号。前のトランザクション・データについて詳しくは、直前のトランザクションのデータの特性を参照してください。

482 (TYPE-C, 'PTTRAN', 4 BYTES)
タスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのトランザクション ID (TRANSID)。前のトランザクション・データについて詳しくは、直前のトランザクションのデータの特性を参照してください。

483 (TYPE-A, 'PTCOUNT', 4 BYTES)
あるタスクから、それに関連した他のタスクを同じ CICS システム内で開始する要求 (**RUN TRANSID** コマンドや **START** コマンドによる要求など) が出された回数。新しい起点が作成されない場合、これは実際上 **RUN TRANSID** コマンドまたは **START** コマンドを使用する際のローカル領域のタスクの深さとなります。前のトランザクション・データについて詳しくは、直前のトランザクションのデータの特性を参照してください。

グループ DFHDATA 内のパフォーマンス・データ

DFHDATA グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

このグループ内の一部のフィールドで使用される時間測定について詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

入出力操作待ちの経過時間と、この時間とトランザクションに関して記録される他の時間の関係について詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

179 (TYPE-A, 'IMSREQCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、IMS (DBCTL) 要求の数。

180 (TYPE-A, 'DB2REQCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、Db2EXEC SQL およびインスツルメンテーション・ファシリティー・インターフェース (IFI) 要求の総数。

186 (TYPE-S, 'IMSWAIT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した IMS 要求を DBCTL が処理するのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

IMS がオープン・トランザクション環境 (OTE) をサポートしている場合は、このフィールドの値はゼロです。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

187 (TYPE-S, 'DB2RDYQW', 12 BYTES)
Db2 スレッドが使用可能になるのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

188 (TYPE-S, 'DB2CONWT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクのオープン TCB で使用するために Db2 接続が使用可能になるのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

395 (TYPE-A, 'WMQREQCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した WebSphere® MQ 要求の総数。

396 (TYPE-S, 'WMQGETWT', 12 BYTES)
WebSphere MQ がユーザー・タスクの GETWAIT 要求をサービスするのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

397 (TYPE-S, 'WMQASRBT', 12 BYTES)
このトランザクションが WebSphere MQ API 要求の処理に費やした WebSphere MQ SRB 時間。 トランザクションが消費した合計プロセッサー時間の測定を考慮する場合は、このフィールドをトランザクション CPU 時間フィールド (USRCPUT) に加算してください。 このフィールドは、Point-to-Point メッセージング・アクティビティーの場合はゼロですが、WebSphere MQ API 要求の結果がパブリッシュおよびサブスクライブ・タイプのメッセージングになる場合はゼロ以外です。

注: WebSphere MQ では、クラス 3 アカウンティング情報が WebSphere で収集されている場合にのみ、この値を CICS に返します。この情報が収集されていない場合は、このフィールドは常にゼロです。クラス 3 アカウンティング情報の収集を開始するには、WebSphere MQ でコマンド `START TRACE(ACCTG) DEST(SMF) CLASS(3)` を発行します。

グループ DFHDEST 内のパフォーマンス・データ

DFHDEST グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

041 (TYPE-A, 'TDGETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した一時データ GET 要求の数。

042 (TYPE-A, 'TDPUTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した一時データ PUT 要求の数。

043 (TYPE-A, 'TDPURCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した一時データ PURGE 要求の数。

091 (TYPE-A, 'TDTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した一時データ要求の総数。このフィールドは、TDGETCT、TDPUTCT、および TDPURCT の合計です。

101 (TYPE-S, 'TDIOWTT', 12 BYTES)
ユーザーが VSAM 一時データ入出力待ちしている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ および 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

403 (TYPE-S, 'TDILWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが区画内一時データ・ロック (TDIPLOCK) を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 リソース・タイプ TDIPLOCK の一時停止タスクについて詳しくは、『Troubleshooting』の『Resource type TDIPLOCK: waits for transient data intrapartition requests』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

404 (TYPE-S, 'TDELWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが区画外一時データ・ロック (TDEPLOCK) を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 リソース・タイプ TDEPLOCK の一時停止タスクについて詳しくは、『Troubleshooting』の『Resource type TDEPLOCK: waits for transient data extrapartition requests』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

グループ DFHDOCH 内のパフォーマンス・データ

DFHDOCH グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

223 (TYPE-A, 'DHDELCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー DELETE 要求の数。

226 (TYPE-A, 'DHCRECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー CREATE 要求の数。

227 (TYPE-A, 'DHINSCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー INSERT 要求の数。

228 (TYPE-A, 'DHSETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー SET 要求の数。

229 (TYPE-A, 'DHRETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー RETRIEVE 要求の数。

230 (TYPE-A, 'DHTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したドキュメント・ハンドラー要求の総数。

240 (TYPE-A, 'DHTOTDCL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが作成した全ドキュメントの全長。

グループ DFHFEPI 内のパフォーマンス・データ

DFHFEPI グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

150 (TYPE-A,'SZALLOCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが割り振った会話の数。 この数は、FEPI ALLOCATE POOL または FEPI CONVERSE POOL ごとに増やされます。

151 (TYPE-A,'SZRCVCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが行った FEPI RECEIVE 要求の数。 この数も FEPI CONVERSE 要求ごとに増やされます。

152 (TYPE-A,'SZSENDCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが行った FEPI SEND 要求の数。 この数も FEPI CONVERSE 要求ごとに増やされます。

153 (TYPE-A,'SZSTRTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが行った FEPI START 要求の数。

154 (TYPE-A,'SZCHROUT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが FEPI を介して送信した文字数。

155 (TYPE-A,'SZCHRIN', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが FEPI を介して受信した文字数。

156 (TYPE-S,'SZWAIT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがすべての FEPI サービスを待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

157 (TYPE-A,'SZALLCTO', 4 BYTES)
会話の割り振りを待っている間に、ユーザー・タスクがタイムアウトになった回数。

158 (TYPE-A,'SZRCVTO', 4 BYTES)
データの受信を待っている間に、ユーザー・タスクがタイムアウトになった回数。

159 (TYPE-A,'SZTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが行ったすべての FEPI API および SPI 要求の総数。

グループ DFHFILE 内のパフォーマンス・データ

DFHFILE グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

グループ DFHFILE で提供されている情報の一部の、個々のファイル別の明細については、トランザクション・リソース・モニターを要求できます。詳しくは、 77 ページの『第 4 章 トランザクション・リソース・クラス・データ: データ・フィールドのリスト』を参照してください。

036 (TYPE-A, 'FCGETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したファイル GET 要求の数。

037 (TYPE-A, 'FCPUTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したファイル PUT 要求の数。

038 (TYPE-A, 'FCBRWCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したファイルのブラウズ要求の数。 ブラウズ START および END 要求は、この数には含まれません。

039 (TYPE-A, 'FCADDCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したファイル ADD 要求の数。

040 (TYPE-A, 'FCDELCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したファイル DELETE 要求の数。

063 (TYPE-S, 'FCIOWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがファイルの入出力を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ、および 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注**:** このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

070 (TYPE-A, 'FCAMCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクがファイル・アクセス方式のインターフェースを呼び出した回数。 OPEN および CLOSE 要求は、この数から除外されます。

093 (TYPE-A, 'FCTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、ファイル制御要求の総数。ファイルの OPEN、CLOSE、 ENABLE、または DISABLE 要求は、この数から除外されます。

表 3 に、EXEC CICS ファイル・コマンドがファイル制御モニター・フィールドとどのように対応しているのかを示します。

表 *3.* ファイル制御モニター・フィールドに関連する *EXEC CICS* ファイル・コマンド

EXEC CICS コマンド	モニター・フィールド
READ	FCGETCT および FCTOTCT
READ UPDATE	FCGETCT および FCTOTCT
DELETE (READ UPDATE 後)	FCDELCT および FCTOTCT
DELETE (RIDFLD を指定)	FCDELCT および FCTOTCT
REWRITE	FCPUTCT および FCTOTCT
WRITE	FCADDCT および FCTOTCT
STARTBR	FCTOTCT
READNEXT	FCBRWCT および FCTOTCT
READNEXT UPDATE	FCBRWCT および FCTOTCT
READPREV	FCBRWCT および FCTOTCT
READPREV UPDATE	FCBRWCT および FCTOTCT
ENDBR	FCTOTCT
RESETBR	FCTOTCT
UNLOCK	FCTOTCT

注**:** STARTBR、ENDBR、RESETBR、および UNLOCK ファイル制御要求の数は、ファイル要求の総カウント FCTOTCT から、ファイル要求カウント FCGETCT、FCPUTCT、FCBRWCT、FCADDCT、および FCDELCT を引いて計算できます。

174 (TYPE-S, 'RLSWAIT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが RLS ファイル入出力を待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

175 (TYPE-S, 'RLSCPUT', 12 BYTES)
QR TCB により発行された RLS 要求の場合:

RLS ファイル要求 CPU (SRB) 時間フィールド (RLSCPUT) は、このトランザクションが RLS ファイルの要求の処理に費やした SRB CPU 時間です。トランザクションが消費した合計 CPU 時間の測定を考慮する際は、このフィールドをトランザクション CPU 時間フィールド (USRCPUT) に追加する必要があります。また、このフィールドを、他の単一の CMF フィールド (RLSWAIT を含む) のサブセットとみなすことはできません。これは、RLS フィールド要求は、要求側のトランザクションと並行して実行することのある MVS SRB の下で、非同期的に実行するからです。 SRB は、要求側のトランザクションが RLS ファイルの要求が完了するのを待たないうちに、その処理を完了することもあります。

オープン TCB により発行された RLS 要求の場合:
要求はアプリケーションが実行しているものと同じ TCB 上で完了するので、オープン TCB モードで実行しているアプリケーションには RLSCPUT フィールドがありません。この場合、要求の CPU 時間は USRCPUT フィールドで既に累算されています。

システム初期設定パラメーター FCQRONLY および FORCEQR は両方とも、RLS 要求が発行される TCB に影響を与える可能性があることに注意してください。詳しくは、システム初期設定パラメーターの説明と要約を参照してください。

176 (TYPE-S, 'CFDTWAIT', 12 BYTES)
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーへのデータ・テーブル・アクセス要求が完了するのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

426 (TYPE-S, 'FCXCWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが VSAM 制御インターバルの排他制御を待っている間に経過した時間。このフィールドでは、リソース・タイプ
(FCXCSUSP、FCXDSUSP、FCXCPROT、または FCXDPROT) に関する待機経過時間がカウントされます。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

427 (TYPE-S, 'FCVSWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが VSAM ストリングを待っている間に経過した時間。このフィールドでは、リソース・タイプ (FCPSSUSP または FCSRSUSP) に関する待機経過時間がカウントされます。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

グループ DFHJOUR 内のパフォーマンス・データ

DFHJOUR グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

010 (TYPE-S, 'JCIOWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがジャーナル (ログ・ストリーム) 入出力待ちしている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ、および 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

058 (TYPE-A, 'JNLWRTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したジャーナル書き込み要求の数。

172 (TYPE-A, 'LOGWRTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS ログ・ストリーム書き込み要求の数。

グループ DFHMAPP 内のパフォーマンス・データ

DFHMAPP グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

050 (TYPE-A, 'BMSMAPCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した BMS MAP 要求の数。 このフィールドは、端末入出力がなかった RECEIVE MAP 要求の数、および RECEIVE MAP FROM 要求の数に対応します。

051 (TYPE-A, 'BMSINCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した BMS IN 要求の数。 このフィールドは、端末入出力がなかった RECEIVE MAP 要求の数に対応します。

052 (TYPE-A, 'BMSOUTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した BMS OUT 要求の数。 このフィールドは、SEND MAP 要求の数に対応します。

090 (TYPE-A, 'BMSTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した BMS 要求の総数。 このフィールドは、ユーザー・タスクが発行した、BMS RECEIVE MAP、RECEIVE MAP FROM、SEND MAP 、SEND TEXT、および SEND CONTROL 要求の合計です。

グループ DFHPROG 内のパフォーマンス・データ

DFHPROG グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

055 (TYPE-A, 'PCLINKCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したプログラム LINK 要求およびプログラム INVOKE APPLICATION 要求の数。これには、ユーザー・タスクの最初のプログラムへのリンクが含まれます。このフィールドには、プログラム LINK URM (ユーザー置き換え可能モジュール) 要求は含まれません。

056 (TYPE-A, 'PCXCTLCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したプログラム XCTL 要求の数。

057 (TYPE-A, 'PCLOADCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したプログラム LOAD 要求の数。

071 (TYPE-C, 'PGMNAME', 8 BYTES)
トランザクションの接続時に呼び出された最初のプログラムの名前。

リモート・トランザクションについての以下の点に注意してください。

- リモート・トランザクションの CICS 定義でプログラム名が指定されていない場合は、このフィールドにはブランクが含まれます。
- リモート・トランザクションの CICS 定義でプログラム名が指定されている場合は、このフィールドには、その指定されたプログラムの名前が含まれます。 (このプログラムは必ずしも、リモート・システムで実行しているプログラムであるとは限りません。)

動的に経路指定されたトランザクションの場合、動的トランザクション経路指定プログラムが、トランザクションをローカルに経路指定し、代替のプログラム名を指定している場合は、このフィールドには、代替プログラムの名前が含まれます。

動的プログラム・リンク (DPL) ミラー・トランザクションの場合、このフィールドには、動的プログラム LINK 要求で指定された初期プログラム名が含まれます。 DPL ミラー・トランザクションは、トランザクション・フラグ TRANFLAG (164) フィールドのバイト 1 を使用して識別できます。

Web サービス・アプリケーションでは、このフィールドにはターゲット・アプリケーション・プログラム名が含まれます。

Web 別名トランザクションの場合、このフィールドには、別名トランザクションが呼び出した初期アプリケーション・プログラムの名前が含まれます。 Web 別名トランザクションは、トランザクション・フラグ TRANFLAG (164) フィールドのバイト 1 を使用して識別できます。

ONC RPC トランザクションの場合、このフィールドには、別名トランザクションが呼び出した初期アプリケーション・プログラムの名前が含まれます。 ONC RPC トランザクションは、トランザクション・フラグ TRANFLAG (164) フィールドのバイト 1 を使用して識別できます。

TCP/IP トランザクション上の ECI の場合、このフィールドには、クライアント・アプリケーションからの外部呼び出しインターフェース (ECI) 要求で指定されている、アプリケーション・プログラムの名前が含まれます。

072 (TYPE-A, 'PCLURMCT', 4 BYTES)
ユーザーが発行したか、またはユーザー・タスクに代わって発行されたプログラム LINK URM (ユーザー置き換え可能モジュール) 要求の数。

ユーザー置き換え可能モジュール (またはユーザー置き換え可能プログラム) は、それがあたかも CICS コードであるかのように、CICS 処理の特定の時点で常に呼び出される、CICS 提供のプログラムです。 提供されているプログラムに独自の論理を組み込んでそれを変更したり、自分で作成したバージョンでそのプログラムを置き換えたりできます。

ユーザー置き換え可能プログラムについては、『Developing system programs』の『Customizing with user-replaceable programs』で説明しています。

073 (TYPE-A, 'PCDPLCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した分散プログラム・リンク (DPL) 要求の数。

個々の分散プログラム・リンク (DPL) 要求のプログラム名およびシステム ID (sysid) 別の明細については、トランザクション・リソース・モニターを要求できます。 詳しくは、 77 ページの『第 4 章 トランザクション・リソース・クラス・データ: データ・フィールドのリスト』を参照してください。

113 (TYPE-C, 'ABCODEO', 4 BYTES)
最初の異常終了コード。

114 (TYPE-C, 'ABCODEC', 4 BYTES)
現行異常終了コード。

115 (TYPE-S, 'PCLOADTM', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがDFHRPL ライブラリー連結または動的ライブラリー連結からのフェッチを待っている間に経過した時間。 この数値には、インストール済みのプログラム定義を持つプログラム、またはアプリケーション要求の結果として自動インストールされたプログラムに対するフェッチ数のみが含まれます。 ただし、LPA にインストール済みのプログラムは含まれません (そのようなプログラムは、ライブラリーから物理的にフェッチされないからです)。 プログラムのロード時間についての詳細は、クロックおよびタイム・スタンプ、およびプログラム・ロード時間を参照してください。

286 (TYPE-A, 'PCDLCSDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが、CHANNEL オプションを指定して発行したすべての分散プログラム・リンク (DPL) 要求のコンテナー内のデータの全長 (バイト)。 この合計には、データに付加されているすべてのヘッダーの長さが含まれます。

287 (TYPE-A, 'PCDLCRDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したすべての DPL RETURN CHANNEL コマンドのコンテナー内のデータの全長 (バイト)。 この合計には、データに付加されているすべてのヘッダーの長さが含まれます。

306 (TYPE-A, 'PCLNKCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが CHANNEL オプションを指定して発行したローカル・プログラムの LINK 要求および INVOKE APPLICATION 要求の数。

このフィールドは、プログラム LINK 要求フィールドおよびプログラム INVOKE APPLICATION 要求フィールド PCLINKCT (055) のサブセットです。

307 (TYPE-A, 'PCXCLCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが CHANNEL オプションを指定して発行したプログラム XCTL 要求の数。

このフィールドは、プログラム XCTL 要求フィールド PCXCTLCT (056) のサブセットです。

308 (TYPE-A, 'PCDPLCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが、CHANNEL オプションを指定して発行したプログラム分散プログラム・リンク (DPL) 要求の数。

このフィールドは、分散プログラム・リンク要求フィールド PCDPLCT (073) のサブセットです。

309 (TYPE-A, 'PCRTNCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが、CHANNEL オプションを指定して発行したリモートの疑似会話型 RETURN 要求の数。

310 (TYPE-A, 'PCRTNCDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したすべてのリモートの疑似会話型 RETURN CHANNEL コマンドのコンテナー内のデータの全長 (バイト)。 この合計には、データに付加されているすべてのヘッダーの長さが含まれます。

トランザクション・ダンプを生成しない可能性のある異常終了

トランザクションが呼び出される環境によっては、以下の異常終了が発生する際に、トランザクション・ダンプが取られない可能性があります。

ASPF
ASPN
ASPO
ASPP
ASPQ
ASPR
ASP1
ASP2
ASP3
ASP7
ASP8

グループ DFHRMI 内のパフォーマンス・データ

DFHRMI グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

グループ DFHRMI は、RMI=YES が DFHMCT TYPE=INITIAL マクロで指定されている場合に限り、パフォーマンス・クラス・レコードに存在します。 詳しくは、「制御セクション: DFHMCT TYPE=INITIAL」の DFHMCT TYPE=INITIAL マクロの RMI パラメーターを参照してください。

001 (TYPE-S, 'RMITOTAL', 12 BYTES)
CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やされた総経過時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび RMI 経過時間および中断時間を参照してください。

002 (TYPE-S, 'RMIOTHER', 12 BYTES)
CICS RMI で、Db2、DBCTL、EXEC DLI、IBM® MQ、CICSPlex® SM、および CICS TCP/IP ソケット要求以外のリソース・マネージャー要求に費やされた総経過時間。

003 (TYPE-S, 'RMIDB2', 12 BYTES)
CICS RMI で Db2 要求に費やされた総経過時間。

004 (TYPE-S, 'RMIDBCTL', 12 BYTES)
CICS RMI で DBCTL 要求に費やされた総経過時間。

005 (TYPE-S, 'RMIEXDLI', 12 BYTES)
CICS RMI で EXEC DLI 要求に費やされた総経過時間。

006 (TYPE-S, 'RMIMQM', 12 BYTES)
CICS RMI で IBM MQ 要求に費やされた総経過時間。

007 (TYPE-S, 'RMICPSM', 12 BYTES)
CICS RMI で CICSPlex SM 要求に費やされた総経過時間。

008 (TYPE-S, 'RMITCPIP', 12 BYTES)
CICS RMI で CICS TCP/IP ソケット要求に費やされた総経過時間。

グループ DFHSOCK 内のパフォーマンス・データ

DFHSOCK グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

241 (TYPE-S, 'SOIOWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがインバウンド・ソケット入出力を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

242 (TYPE-A, 'SOBYENCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクのために Secure Sockets Layer が暗号化したバイト数。

243 (TYPE-A, 'SOBYDECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクのために Secure Sockets Layer が暗号化解除したバイト数。

245 (TYPE-C, 'TCPSRVCE', 8 BYTES)
ユーザー・タスクを接続した TCP/IP サービス名。

246 (TYPE-A, 'PORTNUM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクを接続した TCP/IP サービスの TCP/IP ポート番号。

288 (TYPE-A, 'ISALLOCT, 4 BYTES)
セッションのために IPIC を使用してユーザー・タスクが発行した、割り振りセッション要求の数。

289 (TYPE-A, 'SOEXTRCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、EXTRACT TCPIP および EXTRACT CERTIFICATE 要求の数。

290 (TYPE-A,'SOCNPSCT',4 BYTES)
非永続アウトバウンド・ソケットを作成するために、ユーザー・タスクが行った要求の総数。

291 (TYPE-A,'SOCPSCT',4 BYTES)
永続アウトバウンド・ソケットを作成するために、ユーザー・タスクが行った要求の総数。

292 (TYPE-A,'SONPSHWM',4 BYTES)
ユーザー・タスクが所有している非永続アウトバウンド・ソケットのピーク数。

293 (TYPE-A,'SOPSHWM',4 BYTES)
ユーザー・タスクが所有している永続アウトバウンド・ソケットのピーク数。

294 (TYPE-A,'SORCVCT',4 BYTES)
ユーザー・タスクがアウトバウンド・ソケット (永続および非永続) に対して発行した受信要求の総数。

295 (TYPE-A,'SOCHRIN',4 BYTES)
ユーザー・タスクがアウトバウンド・ソケットで受信したバイトの総数。

296 (TYPE-A,'SOSENDCT',4 BYTES)
ユーザー・タスクがアウトバウンド・ソケット (永続および非永続) に対して発行した送信要求の総数。

297 (TYPE-A,'SOCHROUT',4 BYTES)
ユーザー・タスクがアウトバウンド・ソケットで送信したバイトの総数。

298 (TYPE-A, 'SOTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したソケット要求の総数。

299 (TYPE-S, 'SOOIOWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがアウトバウンド・ソケットで待っている間に経過した時間の合計。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

300 (TYPE-S, 'ISIOWTT', 12 BYTES)
IPIC 接続のこの端点でユーザー・タスクが制御を待っている間に経過した時間。

301 (TYPE-A, 'SOMSGIN1', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行されたインバウンド・ソケット受信要求の数。

302 (TYPE-A, 'SOCHRIN1', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したインバウンド・ソケット受信要求によって受信された文字数。

303 (TYPE-A, 'SOMSGOU1', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、インバウンド・ソケット送信要求の数。

304 (TYPE-A, 'SOCHROU1', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したインバウンド・ソケット送信要求によって送信された文字数。

305 (TYPE-C, 'ISIPICNM', 8 BYTES)
ユーザー・タスクを付加した TCP/IP サービスの IPIC 接続の名前。

318 (TYPE-C, 'CLIPADDR', 40 BYTES)
クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。

319 (TYPE-S, 'ISALWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが IPIC セッションの割り振り要求を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

320 (TYPE-A, 'SOCIPHER', 4 BYTES)
SSL ハンドシェーク中に選択された、インバウンド接続用の暗号スイートを表すコード (例えば X'0000002F') を示します。 CICS および z/OS でサポートされる暗号スイートとそれぞれのコードの一覧については、 暗号スイートおよび暗号スイート仕様ファイルを参照してください。

330 (TYPE-A, 'CLIPPORT', 4 BYTES)
クライアントまたは Telnet クライアントのポート番号。

344 (TYPE-C, 'SOCONMSG', 4 BYTES)
クライアントの新規接続の確立に関する最初のメッセージがタスクで処理されたかどうかを示します。このフィールドを使用して、ソケット接続が新規作成される頻度を測定できます。

Y クライアントからの最初のメッセージがタスクで処理されたことを示します。

N クライアントからの 2 番目以降のメッセージがタスクで処理されたことを示します。

グループ DFHSTOR 内のパフォーマンス・データ

DFHSTOR グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

グループ DFHSTOR 内のユーザー・ストレージ・フィールド

033 (TYPE-A, 'SCUSRHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに割り振られた、ユーザー動的ストレージ域 (UDSA) 内の、16 MB 境界よりも下のストレージの最大量 (最高水準点)。

054 (TYPE-A, 'SCUGETCT', 4 BYTES)
UDSA において、ユーザー・タスクが 16 MB 境界よりも下のストレージを求めて発行したユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

095 (TYPE-A, 'SCUSRSTG', 8 BYTES)
UDSA 内の、16 MB 境界よりも下の、ユーザー・タスクのストレージ占有。

これは、使用中のストレージ対経過時間の曲線の下の面積です。 ストレージ占有の詳細については、ストレージ占有カウントを参照してください。

105 (TYPE-A, 'SCUGETCT', 4 BYTES)
拡張ユーザー動的ストレージ域 (EUDSA) 内の、16 MB 境界よりも上のストレージを要求してユーザー・タスクが発行した、ユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

106 (TYPE-A, 'SCUSRHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに割り振られた、EUDSA 内の、16 MB 境界よりも上のユーザー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

107 (TYPE-A, 'SCUSRSTG', 8 BYTES)
EUDSA 内の、16 MB 境界よりも上の、ユーザー・タスクのストレージ占有。これは、使用中のストレージ対経過時間の曲線の下の面積です。 詳しくは、ストレージ占有カウントを参照してください。

116 (TYPE-A, 'SC24CHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに割り振られた、CICS 動的ストレージ域 (CDSA) 内の、16 MB 境界よりも下のユーザー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

117 (TYPE-A, 'SCCGETCT', 4 BYTES)
CDSA 内の、16 MB 境界よりも下のストレージを要求してユーザー・タスクが発行した、ユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

118 (TYPE-A, 'SC24COCC', 8 BYTES)
CDSA 内の、16 MB 境界よりも下の、ユーザー・タスクのストレージ占有。これは、使用中のストレージ対経過時間の曲線の下の面積です。 詳しくは、ストレージ占有カウントを参照してください。

119 (TYPE-A, 'SC31CHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに割り振られた、拡張 CICS 動的ストレージ域 (ECDSA) 内の、16 MB 境界よりも上のユーザー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

120 (TYPE-A, 'SCCGETCT', 4 BYTES)
ECDSA 内の、16 MB 境界よりも上のストレージを要求してユーザー・タスクが発行したユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

121 (TYPE-A, 'SC31COCC', 8 BYTES)
ECDSA 内の、16 MB 境界よりも上の、ユーザー・タスクのストレージ占有。これは、使用中のストレージ対経過時間の曲線の下の面積です。 詳しくは、ストレージ占有カウントを参照してください。

441 (TYPE-A, 'SC64CGCT', 4 BYTES)
CICS 動的ストレージ域 (GCDSA) において、2 GB 境界よりも上のストレージを求めてユーザー・タスクによって発行されたユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

442 (TYPE-A, 'SC64CHWM', 4 BYTES)
CICS 動的ストレージ域 (GCDSA) において、2 GB 境界より上の領域でユーザー・タスクに (4K を最小単位として) 割り振られるユーザー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

443 (TYPE-A, 'SC64UGCT', 4 BYTES)
動的ストレージ域 (GCDSA) において、ユーザー・タスクが 2 GB 境界よりも上のストレージを求めて発行したユーザー・ストレージ GETMAIN 要求の数。

444 (TYPE-A, 'SC64UHWM', 4 BYTES)
ユーザー動的ストレージ域 (GUDSA) において、2 GB 境界より上の領域でユーザー・タスクに (4K を最小単位として) 割り振られるユーザー・ストレージの最大量 (最高水準点)。

表 *4. DSA* によるユーザー・ストレージ・フィールド *ID (CICS* キーとユーザー・キー*)*

フィールド	**UDSA**	**EUDSA**	**CDSA**	**ECDSA**	**GCDSA**	**GUDSA**
GETMAIN 要求数	054	105	117	120	441	443
最高水準点	033	106	116	119	442	444
占有	095	107	118	121	適用なし	適用なし

グループ **DFHSTOR** 内の共用ストレージ・フィールド

144 (TYPE-A, 'SC24SGCT', 4 BYTES)
CDSA または SDSA 内の、16 MB 境界よりも下の共用ストレージを要求してユーザー・タスクが発行した、ストレージ GETMAIN 要求の数。

145 (TYPE-A, 'SC24GSHR', 4 BYTES)
CDSA または SDSA においてユーザー・タスクが GETMAIN 要求を使用して獲得した 16 MB 境界よりも下の共有ストレージのバイト数。

146 (TYPE-A, 'SC24FSHR', 4 BYTES)
CDSA または SDSA においてユーザー・タスクが FREEMAIN 要求を使用して解放した 16 MB 境界よりも下の共有ストレージのバイト数。

147 (TYPE-A, 'SC31SGCT', 4 BYTES)
ECDSA または ESDSA 内の、16 MB 境界よりも上の共用ストレージを要求してユーザー・タスクが発行した、ストレージ GETMAIN 要求の数。

148 (TYPE-A, 'SC31GSHR', 4 BYTES)
ECDSA または ESDSA においてユーザー・タスクが GETMAIN 要求を使用して獲得した 16 MB 境界よりも上の共有ストレージのバイト数。

149 (TYPE-A, 'SC31FSHR', 4 BYTES)
ECDSA または ESDSA においてユーザー・タスクが FREEMAIN 要求を使用して解放した 16 MB 境界よりも下の共有ストレージのバイト数。

445 (TYPE-A, 'SC64SGCT', 4 BYTES)
GCDSA または GSDSA において、ユーザー・タスクが 2 GB 境界より上の共用ストレージを求めて発行したストレージ GETMAIN 要求の数。

446 (TYPE-A, 'SC64GSHR', 4 BYTES)
GCDSA または GSDSA において、ユーザー・タスクが GETMAIN 要求を使用して獲得した 2 GB 境界より上の共用ストレージの量。獲得した合計バイト数は 4096 バイト単位で切り上げられ、その結果が 4K ページの数として表示されます。

447 (TYPE-A, 'SC64FSHR', 4 BYTES)
GCDSA または GSDSA において、ユーザー・タスクが FREEMAIN 要求を使用して解放した 2 GB 境界より上の共用ストレージの量。獲得した合計バイト数は 4096 バイト単位で切り上げられ、その結果が 4K ページの数として表示されます。

表 5. *DSA* による共有ストレージ・フィールド *ID*

フィールド	**CDSA** または **SDSA**	**ECDSA** または **ESDSA**	**GCDSA** または **GSDSA**
GETMAIN 要求数	144	147	445
獲得した共有ストレージ	145	148	446
解放した共有ストレージ	146	149	447

グループ **DFHSTOR** 内のプログラム・ストレージ・フィールド

プログラム・ストレージについての詳細は、ストレージ・マネージャー統計を参照してください。

注**:** タスクが同じプログラムを複数回ロードする場合は、このグループ内のフィールドは、タスクが使用するプログラム・ストレージの真の最高水準点を反映していない可能性があります。これらのフィールドは、LOAD コマンドが発行されるたびに増やされますが、タスクが既にこのプログラムをロードしている場合は、このプログラムの既存のコピーが使用されます。つまり、ストレージにはそのプログラムのコピーが 1 つだけ存在していることになります。このため、同じプログラムを繰り返しロードするタスクに対して、PCSTGHWM、PC24BHWM、PC31RHWM、PC31AHWM、PC31CHWM 、PC24CHWM、PC24SHWM、PC31SHWM、および PC24RHWM の各フィールド内のデータを使用する場合は、注意が必要です。

087 (TYPE-A, 'PCSTGHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、16 MB 境界よりも上および 下のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。

108 (TYPE-A, 'PC24BHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、16 MB 境界よりも下のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、16 MB 境界の下にある PCSTGHWM (フィールド ID 087) のサブセットです。

122 (TYPE-A, 'PC31RHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、拡張読み取り専用動的ストレージ域 (ERDSA) 内の、16 MB 境界よりも上のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、ERDSA に常駐する PC31AHWM (フィールド ID 139) のサブセットです。

139 (TYPE-A, 'PC31AHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の16 MB 境界よりも上のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、16 MB 境界よりも上に常駐する PCSTGHWM (フィールド ID 087) のサブセットです。

142 (TYPE-A, 'PC31CHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、拡張 CICS 動的ストレージ域 (ECDSA) 内の、16 MB 境界よりも上のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、ECDSA に常駐する PC31AHWM (139) のサブセットです。

143 (TYPE-A, 'PC24CHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、CICS 動的ストレージ域 (CDSA) 内の、16 MB 境界よりも下のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、CDSA に常駐する PC24BHWM (108) のサブセットです。

160 (TYPE-A, 'PC24SHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、共用動的ストレージ域 (SDSA) 内の、16 MB 境界よりも下のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、SDSA に常駐する PC24BHWM (108) のサブセットです。

161 (TYPE-A, 'PC31SHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) 内の、16 MB 境界よりも上のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、ESDSA に常駐する PC31AHWM (139) のサブセットです。

162 (TYPE-A, 'PC24RHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが使用中の、読み取り専用動的ストレージ域 (RDSA) 内の、16 MB 境界よりも下のプログラム・ストレージの最大量 (最高水準点)。 このフィールドは、RDSA に常駐する PC24BHWM (108) のサブセットです。

グループ DFHSYNC 内のパフォーマンス・データ

DFHSYNC グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

060 (TYPE-A, 'SPSYNCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクの間に発行された SYNCPOINT 要求の数。

注:

1. A SYNCPOINT は、タスク切り離し処理の一部として、暗黙的に発行されます。
2. SYNCPOINT は、PSB 終了時に、DBCTL に対して発行されます。

173 (TYPE-S, 'SYNCTIME', 12 BYTES)
ユーザー・タスクがディスパッチされて、同期点要求を処理している間に経過した時間の合計。

177 (TYPE-S, 'SRVSYWTT', 12 BYTES)
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーを使用する同期点処理、または再同期化処理が完了するのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間の合計。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

196 (TYPE-S, 'SYNCDLY', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、その親トランザクションが同期点要求を発行するのを待っている間に経過した時間。 プロセスまたはアクティビティーを同期的に実行する場合、ユーザー・タスクの親タスクが CICS BTS プロセス実行、またはアクティビティー実行要求を発行したために、そのユーザー・タスクが実行していました。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

199 (TYPE-S, 'OTSINDWT', 12 BYTES)
オブジェクト・トランザクション・サービス (OTS) 同期点要求に対して同期点

を処理している間にユーザー・タスクがディスパッチされていたか、または未確定で中断されていた (またはその両方) ときに経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

グループ DFHTASK 内のパフォーマンス・データ

DFHTASK グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

001 (TYPE-C, 'TRAN', 4 BYTES)
トランザクション識別。

004 (TYPE-C,'TTYPE',4 BYTES)
トランザクションの開始タイプ。 高位バイト (0 および 1) は、以下に設定されます。

'TO' 端末入力から接続されます。

'S ' データなしで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

'SD' データ付きで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

'QD' 一時データ・トリガー・レベルによって接続されます。

'U ' ユーザー要求によって接続されます。

'TP' 端末 TCTTE トランザクション ID から接続されます。

'SZ' フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) によって接続されます。

007 (TYPE-S, 'USRDISPT', 12 BYTES)
タスクが実行されている各 CICS TCB において、ユーザー・タスクがディスパッチされている間に経過した時間の合計。 CICS ディスパッチャーによって管理される TCB モードは、QR、RO、CO、FO、SZ、RP、SL、SP、SO、EP、L8、L9、S8、TP、T8、X8、X9、および D2 です。 それぞれの CICS リリースごとに、新規の TCB モードがこのリストに追加されたり、古くなった TCB モードが除去されたりする場合があることに注意してください。 ディスパッチ時間および CPU 時間について詳しくは、トランザクション・ディスパッチ時間と CPU 時間を参照してください。

008 (TYPE-S, 'USRCPUT', 12 BYTES)
タスクが実行されている各 CICS TCB で、ユーザー・タスクがディスパッチされていたプロセッサー時間。 CICS ディスパッチャーによって管理される TCB モードは、QR、RO、CO、FO、SZ、RP、SL、SP、SO、EP、L8、L9、S8、TP、T8、X8、X9、および D2 です。 それぞれの CICS リリースごとに、新規の TCB モードがこのリストに追加されたり、古くなった TCB モードが除去されたりする場合があることに注意してください。

ディスパッチ時間および CPU 時間について詳しくは、トランザクション・ディスパッチ時間と CPU 時間を参照してください。

014 (TYPE-S, 'SUSPTIME', 12 BYTES)
ディスパッチャーによってユーザー・タスクが中断されている間に経過した待機時間。 この待機時間には、これらの値が含まれます。

- 最初のディスパッチを待っている間に経過した時間。 この経過時間には、トランザクションのクラスに設定されている制限 (存在する場合) のために生じた遅延か、またはシステム・パラメーター MXT に到達したために生じた遅延も含まれます。
- タスク中断 (待機) 時間。
- 中断されていたタスクが再開した後の再ディスパッチを待っている間に経過した時間。

詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

031 (TYPE-P, 'TRANNUM', 4 BYTES)
トランザクション識別番号。 トランザクション番号フィールドは、通常 4 バイト・パックされた 10 進数です。 ただし、一部の CICS システムのタスクは、以下に示した特別な文字で構成されるトランザクション番号で識別されます。

' III' システム初期設定タスク

' TCP'
端末管理

これら特別な ID は、バイト 2 から 4 に挿入されます。バイト 1 は、端末管理 TCP ID の前ではブランク (X'40') で、それ以外の前ではヌル値 (X'00') です。

059 (TYPE-A, 'ICPUINCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクの間のインターバル制御機能 START または INITIATE 要求の数。

064 (TYPE-A, 'TASKFLAG', 4 BYTES)
タスク・エラー・フラグ。これは、ユーザー・タスクの間に異常状態が発生したことを通知するために使用される、32 ビットのストリングです。

ビット **0**
予約

ビット **1**
既に実行中のユーザー・クロックを開始しようとしたか、実行していないユーザー・クロックを停止しようとしたかのいずれかを検出しました。

ビット **2** から **31**
予約

065 (TYPE-A, 'ICSTACCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが、CHANNEL オプションを指定して発行した、ローカルのインターバル制御機能 START 要求の総数。

066 (TYPE-A, 'ICTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、インターバル制御機能開始、取り消し、遅延、および取得要求の総数。

082 (TYPE-C, 'TRNGRPID', 28 BYTES)
トランザクション・グループ ID は、トランザクションの接続時に割り当てられ、同一の着信作業要求 (例えば、Web 要求のための CWXN および CWBA トランザクション) に対して CICS が実行しているトランザクションを相互に関連付けるために使用できます。 このトランザクション・グループ ID の関連付けは、CICSWeb、ECI over TCP/IP、または 3270 ブリッジ・インターフェースを発信元とする要求に適用すると便利です。トランザクションの発信元は、トランザクション・フラグ・フィールド (グループ名 DFHTASK 、フィールド ID 164) に 4 バイト値として表示されます。トランザクション・グループ ID の使用について詳しくは、「CICS 相互通信ガイド」の トランザクションの追跡 を参照してください。

097 (TYPE-C, 'NETUOWPX', 20 BYTES)
z/OS Communications Server ネットワークが、起点システムを認識するときの完全修飾名。 この名前は、(タスクがローカル端末に接続されたときに) TCT から派生したネット名、または ISC APPC または IRC 付加ヘッダーの一部として渡されたネット名のいずれかを使用して、接続時に割り当てられます。 この名前の右端には、少なくとも 3 つの埋め込みバイト (X'00') が存在します。

起点端末が ISC APPC または IRC リンクを経由する z/OS Communications Server の場合は、ネット名は *networkid.LUname* になります。端末が z/OS Communications Server 以外の場合は、ネット名は *networkid.generic_applid* になります。

ISC LUTYPE6.1 付加ヘッダーの一部として渡されたすべての起点情報のフォーマットは、非 z/OS Communications Server 端末の発信元と同じです。

発信元が外部の CICS インターフェース (EXCI) セッションで通信している場合、この名前は起点システムから派生した

```
'DFHEXCIU | .       | MVS Id    | Address Space Id (ASID)'
 8 bytes  | 1 byte  | 4 bytes   | 4 bytes
```

を連結したものになります。 すなわち、この名前は 17 バイトの LU 名で、これらのフィールドで構成されています。

- DFHEXCIU に設定された 8 バイトの目印。
- ピリオド (.) を含む 1 バイト・フィールド。.
- 実行中のクライアント・プログラムが置かれている MVSID を文字で含む 4 バイトのフィールド。
- 実行中のクライアント・プログラムが置かれているアドレス・スペース ID (ASID) を含む 4 バイトのフィールド。 このフィールドには、2 バイトの 16 進アドレス・スペース ID の 4 文字 EBCDIC 表現が含まれています。

098 (TYPE-C, 'NETUOWSX', 8 BYTES)
起点システム内でネットワークの作業単位 ID を認識するための名前。 この名前は、STCK 派生トークン (タスクがローカル端末に接続されている場合)、ISC (APPC) または IRC (MRO) 付加ヘッダーの一部として渡されたネットワークの作業単位 ID のいずれかを使用して、接続時に割り当てられます。

このフィールドの最初の 6 バイトは、起点システムのシステム・クロックから派生するバイナリー値で、数カ月のインターバルで循環することができます。

このフィールドの最後の 2 バイトは、期間カウント用です。 これらのバイトは、同期点アクティビティーの結果、タスクの存続中に変化する可能性があります。

MRO または ISC を使用している場合は、NETUOWSX フィールドを NETUOWPX フィールド (097) と結合して、タスクを一意的に識別する必要があります。これは、NETUOWSX は起点の CICS システムに対してのみ固有であるためです。

102 (TYPE-S, 'DISPWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが再ディスパッチを待っている間に経過した時間。 この時間は、各イベントの完了とユーザー・タスクの再ディスパッチの間の待ち時間を総計したものです。

このフィールドには、最初のディスパッチを待っている間に経過した時間は含まれません。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

109 (TYPE-C, 'TRANPRI', 4 BYTES)
タスクのモニターが初期設定されたときのトランザクションの優先順位 (下位バイト 3)。

123 (TYPE-S, 'GNQDELAY', 12 BYTES)
CICS タスク制御グローバル・エンキューを待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

124 (TYPE-C, 'BRDGTRAN', 4 BYTES)
ブリッジ・リスナー・トランザクション ID。 CICS 3270 ブリッジ・トランザクションの場合、このフィールドはユーザー・タスクを接続したブリッジ・リスナー・トランザクションの名前です。

125 (TYPE-S, 'DSPDELAY', 12 BYTES)
最初のディスパッチを待っている間に経過した時間。

このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

126 (TYPE-S, 'TCLDELAY', 12 BYTES)
このトランザクションのトランザクション・クラス TCLSNAME (166) に設定されている制限に達したために遅延した最初のディスパッチを待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。 このフィールドは、最初のディスパッチ遅延 DSPDELAY (125) フィールドのコンポーネントです。

127 (TYPE-S, 'MXTDELAY', 12 BYTES)
システム・パラメーター MXT によって設定されている制限に達したために遅延した最初のディスパッチを待っている間に経過した時間。このフィールドは、最初のディスパッチ遅延 DSPDELAY (125) フィールドのコンポーネントです。

128 (TYPE-S, 'LMDELAY', 12 BYTES)
リソースに対するロックを獲得するためにユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ユーザー・タスクはリソースに対して明示的にはロックを獲得できませんが、多くの CICS モジュールは、ユーザー・タスクに代わって、CICS ロック・マネージャー (LM) ドメインを使用してリソースをロックします。

CICS ロック・マネージャーの詳細については、「Investigating lock manager waits」を参照してください。

時間については、クロックおよびタイム・スタンプおよび 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

129 (TYPE-S, 'ENQDELAY', 12 BYTES)
CICS タスク制御ローカル・エンキューを待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

132 (TYPE-T, 'RMUOWID', 8 BYTES)
このタスクの作業単位 (リカバリーの単位) の ID。 リカバリーの単位の値は、CICS と他のリソース・マネージャー (IMS や Db2 など) の間でリカバリー操作を同期化するために使用されます。

163 (TYPE-C, 'FCTYNAME', 4 BYTES)
トランザクション・ファシリティー名。 トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。 トランザクション・ファシリティー・タイプ (存在する場合) は、トランザクション・フラグ **TRANFLAG** の (164) フィールドのバイト 0 を使用して識別できます。

164 (TYPE-A, 'TRANFLAG', 8 BYTES)
トランザクション・フラグ。これは、64 ビットのストリングで、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。

バイト **0**
発信トランザクションのファシリティー・タイプ:

ビット **0**
トランザクション・ファシリティー名 = なし (x'80')

ビット **1**
トランザクション・ファシリティー名 = 端末 (x'40')

このビットが設定されている場合は、FCTYNAME および TERM には、同じ端末 ID が含まれます。

ビット **2**
トランザクション・ファシリティー名 = サロゲート (x'20')

ビット **3**
トランザクション・ファシリティー名 = 宛先 (x'10')

ビット **4**
トランザクション・ファシリティー名 = 3270 ブリッジ (x'08')

ビット **5** から **7**
予約

バイト **1**

トランザクション識別情報:

ビット **0**
システム・トランザクション (x'80')

ビット **1**
ミラー・トランザクション (x'40')

ビット **2**
DPL ミラー・トランザクション (x'20')

ビット **3**
ONC/RPC 別名トランザクション (x'10')

ビット **4**
WEB 別名トランザクション (x'08')

ビット **5**
3270 ブリッジ・トランザクション (x'04')

ビット **6**
予約済み (x'02')

ビット **7**
CICS BTS 実行トランザクション

バイト **2**

z/OS ワークロード・マネージャー要求 (トランザクション) 完了情報:

ビット **0**
完了した処理要求 (トランザクション) についての応答時間の合計 (開始 - 終了段階) を報告します。

ビット **1**
処理要求の実行段階全体が完了したことを通知します。

ビット **2**
処理要求の実行段階のサブセットが完了したことを通知します。

ビット **3**
Db2 にアクセスしようとして「connection unavailable」(接続が使用不可) 応答が戻されたため、このトランザクションが異常終了したことが z/OS ワークロード・マネージャーに報告されました。 この異常終了が発生するのは、以下のすべてが真である場合です。

- ビット 0 が設定されている。
- CICS が Db2 に接続されていない。
- CICS-Db2 アダプターが待機モード (STANDBYMODE (RECONNECT) または STANDBYMODE(CONNECT)) になっている。
- CONNECTERROR(SQLCODE) が指定されており、アプリケーションが -923 SQL コードを受け取った。

ビット **4** から **7**
予約

バイト **3**
トランザクション定義情報:

ビット **0**
タスク・データ・ロケーション = 下 (x'80')

ビット **1**
タスク・データ・キー = cics (x'40')

ビット **2**
分離 = いいえ (x'20')

ビット **3**
動的 = はい (x'10')

ビット **4** から **7**
予約

バイト **4**
トランザクションの起点タイプ:

X'01' なし

X'02' 端末

X'03' 一時データ

X'04' START

X'05' 端末関連の START

X'06' CICS Business Transaction Services (BTS) スケジューラー

X'07' トランザクション・マネージャー・ドメイン (XM) が実行するトランザクション

X'08' 3270 ブリッジ

X'09' ソケット・ドメイン

X'0A' CICS Web サポート (CWS)

X'0B' Internet Inter-ORB Protocol (IIOP)

X'0C' リソース・リカバリー・サービス (RRS) (Resource Recovery Services (RRS))

X'0D' LU 6.1 セッション

X'0E' LU 6.2 (APPC) セッション

X'0F' MRO セッション

X'10' 外部呼び出しインターフェース (ECI) セッション

X'11' IIOP ドメイン要求受信側

X'12' 要求ストリーム (RZ) インストア・トランスポート

X'13' IPIC セッション

X'14' イベント

X'15' JVMSERVER

X'16' 非同期サービス・ドメイン (AS) - トランザクションの実行

X'17 NODEJSAPP

バイト **5**

トランザクション状況情報:

ビット **0**

トランザクション起点

ビット **1**

予約

ビット **2**

このタスクの 1 つ以上のリソース・クラス・レコード

ビット **3**

このタスクの 1 つ以上の ID クラス・レコード

ビット **4**

予約

ビット **5**

予約

ビット **6**

タスクのパージまたはランナウェイの結果、タスクが実行されていた オープン TCB が終了しました。

注**:** ビット 6 が設定されている場合、トランザクションのタイミング・クロックが信頼できない状態になっています。結果として、CICS モニター機能 (CMF) によるレコードの書き込み時に、クロックがゼロに設定されます。

ビット **7**

タスクが異常終了しました

バイト **6**

トランザクションの追跡の起点データ・タグ。トランザクションの追跡の起点データ・タグの設定方法について詳しくは、SET_TRACKING_DATA 呼び出しを参照してください。

注**:** トランザクションの追跡の起点データ・タグは、トランザクションの起点である場合にのみレコードで設定することができます。トランザクションの起点は、**TRANFLAG** フィールドのトランザクション状況情報バイト 5 にビット 0 が設定されるときに判別できます。

バイト **7**

リカバリー・マネージャー情報:

ビット **0**

未確定待機 = いいえ

ビット **1**

未確定アクション = コミット

ビット **2**
リカバリー・マネージャー、未確定アクションで解決された UOW

ビット **3**
リカバリー・マネージャー、中断

ビット **4**
リカバリー・マネージャー、未中断

ビット **5**
リカバリー・マネージャー、未確定障害

ビット **6**
リカバリー・マネージャー、リソース所有者の障害

ビット **7**
予約

注: MNSYNC=YES オプションが指定されている場合、ビット 2 から 6 は SYNCPOINT 要求でリセットされます。

166 (TYPE-C, 'TCLSNAME', 8 BYTES)
トランザクション・クラス名。 トランザクションが TRANCLASS にない場合、このフィールドはヌルです。

170 (TYPE-S, 'RMITIME', 12 BYTES)
CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やされた総経過時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』、およびRMI 経過時間および中断時間を参照してください。

171 (TYPE-S, 'RMISUSP', 12 BYTES)
CICS リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) において、タスクが CICS ディスパッチャーによって中断されている間に経過した時間の合計。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』、およびRMI 経過時間および中断時間を参照してください。 このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントですが、RMITIME (170) フィールドのコンポーネントでもあります。

181 (TYPE-S, 'WTEXWAIT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが **EXEC CICS WAIT EXTERNAL ECBLIST** コマンドを使用して CICS に渡した 1 つ以上の ECB が、MVS POST コマンドによってポストされるのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 ユーザー・タスクは、1 つ以上の ECB で待機できます。 ユーザー・タスクが複数の ECB で待っている場合は、ECB の 1 つがポストされると、即座にディスパッチ可能になります。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

182 (TYPE-S, 'WTCEWAIT', 12 BYTES)
以下のいずれかのイベントのためにユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

- ユーザー・タスクが **EXEC CICS WAITCICS ECBLIST** コマンドを使用して CICS にした 1 つ以上の ECB が、MVS POST コマンドによってポストされること。 ユーザー・タスクは、1 つ以上の ECB で待機できます。 ユーザー・タスクが複数の ECB で待っている場合は、ECB の 1 つがポストされると、即座にディスパッチ可能になります。
- 同一のユーザー・タスクまたは別のユーザー・タスクが開始したイベントの完了。 このイベントは通常、期限切れ時点における、**EXEC CICS POST** コマンドに応答して提供されるタイマー・イベント制御域のポストです。 **EXEC CICS WAIT EVENT** コマンドは、待機しているイベントが完了するまで、制御を他のタスクに直接渡す方法を提供します。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

183 (TYPE-S, 'ICDELAY', 12 BYTES)
以下のいずれかのコマンドを発行した結果、ユーザー・タスクが待機している間に経過した時間。

- 指定された時間インターバルに対するインターバル制御機能 **EXEC CICS DELAY** コマンド。
- 指定された有効期限時刻に対するインターバル制御機能 **EXEC CICS DELAY** コマンド。
- WAIT オプションが指定された、インターバル制御機能 **EXEC CICS RETRIEVE** コマンド。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME(014) フィールドのコンポーネントです。

184 (TYPE-S, 'GVUPWAIT', 12 BYTES)
制御を別のタスクに渡した結果、ユーザー・タスクが待機している間に経過した時間。 ユーザー・タスクは、多くの方法で制御を引き渡すことができます。 その例は、以下の EXEC CICS API または SPI コマンドを 1 つ以上使用するアプリケーション・プログラムです。

- **EXEC CICS SUSPEND** コマンド。 このコマンドを実行すると、発行元のタスクは、ディスパッチング優先順位がより高いかまたは等しい別のタスクに制御を引き渡します。 ディスパッチされる準備ができている優先順位がより高いかまたは等しい別のタスクがない場合、制御は即座にこのタスクに戻されます。
- **EXEC CICS CHANGE TASK PRIORITY** コマンド。このコマンドは、即時に発行元のタスクの優先順位を変更し、そのタスクをこの新規の優先順位でディスパッチするために、そのタスクに制御を放棄させます。 このタスクは、優先順位がより高いかまたは等しい、ディスパッチ可能でもあるタスクがディスパッチされるまでは、再ディスパッチされません。
- INTERVAL (0) を指定した **EXEC CICS DELAY** コマンド。このコマンドを実行すると、発行元のタスクは、ディスパッチング優先順位がより高いかまたは等しい別のタスクに制御を引き渡します。 ディスパッチされる準備ができている優先順位がより高いかまたは等しい別のタスクがない場合、制御は即座にこのタスクに戻されます。

- 指定された時刻が期限切れになったことを通知するよう要求する **EXEC CICS POST** コマンド。 このコマンドを実行すると、発行元のタスクは制御を解放して、CICS に時間イベント制御域をポストする機会を与えます。
- CICS の日時を MVS システムの日時に同期させる **EXEC CICS PERFORM RESETTIME** コマンド。
- ATTACH オプションを指定した **EXEC CICS START TRANSID** コマンド。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

190 (TYPE-C, 'RRMSURID', 16 BYTES)
RRMS/MVS リカバリー単位 ID (URID)。

191 (TYPE-S, 'RRMSWAIT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、EXCI に対してリソース・リカバリー・サービスを使用しながら、未確定のまま待機している間に経過した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

192 (TYPE-S, 'RQRWAIT', 12 BYTES)
要求の受信側のユーザー・タスク CIRR (またはユーザー指定のトランザクション ID) が、未解決の応答が解決されるのを待っている間に経過した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

193 (TYPE-S, 'RQPWAIT', 12 BYTES)
要求プロセッサーのユーザー・タスク CIRP が、未解決の応答が満たされるのを待っている間に経過した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

194 (TYPE-C, 'OTSTID', 128 BYTES)
このフィールドは、オブジェクト・トランザクション・サービス (OTS) のトランザクション ID (TID) の最初の 128 バイトです。

195 (TYPE-S, 'RUNTRWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが CICS BTS プロセス実行要求およびアクティビティー実行要求を同期的に発行した結果実行されたトランザクションが完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

247 (TYPE-S, 'DSCHMDLY', 12 BYTES)
ユーザー・タスクによって、またはユーザー・タスクのために発行された CICS ディスパッチャーの TCB モード変更要求の後に、そのユーザー・タスクが再ディスパッチを待っている間の経過時間。 例えば、CICS L8 または S8 モードの

TCB からCICS QR モードの TCB へ戻す TCB モード変更要求では、現在 QR TCB で別のタスクがディスパッチされているために、QR TCB を待つ必要がある場合があります。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

249 (TYPE-S, 'QRMODDLY', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが CICS QR モード TCB での再ディスパッチを待っている間に経過した時間。この時間は、各イベントの完了とユーザー・タスクの再ディスパッチの間の待ち時間を総計したものです。 このフィールドには、最初のディスパッチを待っている間に経過した時間は含まれません。 QRMODDLY フィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントですが、再ディスパッチ時間 DISPWTT (102) フィールドのコンポーネントでもあります。

250 (TYPE-S, 'MXTOTDLY', 12 BYTES)
CICS システムにより CICS L8 または L9 モードのオープン TCB について設定されている制限に領域が達したために、ユーザー・タスクが L8 または L9 モードのオープン TCB を取得するために待機していた間の経過時間。 L8 および L9 モードのオープン TCB は、OPENAPI アプリケーション・プログラム、または OPENAPI オプションを指定して有効にしたタスク関連ユーザー出口プログラム (例えば、CICS が DB2® バージョン 6 以降に接続している場合は CICS-Db2 アダプター、CICS が Websphere MQ バージョン 6 以降に接続している場合は CICS-MQ アダプター) で使用されます。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

251 (TYPE-A, 'TCBATTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって、またはユーザー・タスクに代わって接続されている CICS TCB の数。

252 (TYPE-A, 'DSTCBHWM', 4 BYTES)
ユーザー・タスクに同時に割り振られている (TCB モード L8、L9、S8、T8、X8 および X9 の) CICS オープン TCB のピークの数。

253 (TYPE-S, 'JVMTIME', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが JVM で費やした総経過時間。 詳しくは、JVM 経過時間、中断時間、およびクリーンアップ時間を参照してください。

254 (TYPE-S, 'JVMSUSP', 12 BYTES)
JVM で実行しているときに、ユーザー・タスクが CICS ディスパッチャーによって中断されている間の経過時間。 詳しくは、JVM 経過時間、中断時間、およびクリーンアップ時間を参照してください。このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

255 (TYPE-S, 'QRDISPT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS QR TCB でディスパッチされている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

256 (TYPE-S, 'QRCPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS QR TCB でディスパッチされている間のプロセッサー時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

257 (TYPE-S, 'MSDISPT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが各 CICS TCB でディスパッチされている間の経過時間。 CICS TCB モードは、以下のように使用されます。

- RO および FO は、常に使用されます。
- CO は、システム初期設定パラメーターとして **SUBTSKS=1** が指定されている場合にのみ使用されます。
- SZ は FEPI がアクティブである場合に使用されます。
- RP は ONC/RPC がインストールされていてアクティブである場合に使用されます。
- SL、SO、および SP は、システム初期設定パラメーターとして **TCPIP=YES** が指定されている場合に使用されます。 モード SL は、TCP/IP (TCP/IP サービス) リスナー・システム・トランザクション CSOL に対するCICS サポートで使用されます。モード SO は、ユーザー・タスクによって、またはユーザー・タスクのために発行された TCP/IP ソケット要求に対する CICS サポートの処理に使用されます。モード SP は、TCP/IP ソケット IPT タスク (初期 Pthread TCB) に対する CICS サポート用であり、すべての SSL pthread (S8 TCB) を所有します。
- D2 は、Db2 保護スレッドの停止に使用されます。
- EP はイベント処理のために使用されます。
- CICS は、インストールされて使用可能にされた JVMSERVER リソース定義ごとに TP モード TCB を作成します。 TP TCB は IPT タスク (初期プロセス・スレッド TCB)、Language Environment® エンクレーブ、JVM、THRD TCB プール、およびその JVM サーバーの T8 TCB を所有します。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

258 (TYPE-S, 'MSCPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが各 CICS TCB でディスパッチされている間のプロセッサー時間。 各 CICS TCB の使用法を、フィールド **MSDISPT** (グループ DFHTASK のフィールド ID 257) の説明に記載しています。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

259 (TYPE-S, 'L8CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS L8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 EXECKEY=CICS で定義されている OPENAPI アプリケーション・プログラム、または OPENAPI オプションによって使用可能にされたタスク関連ユーザー出口プログラムをトランザクションが開始すると、CICS は CICS L8 モード TCB をタスクに割り振ります。 (OPENAPI プログラムが EXECKEY=USER で定義されていても、ストレージ保護ファシリティーが非アクティブの場合は、L8 モードの TCB を割り振ることができます。) タスクに L8 モードの TCB を割り振られると、トランザクションが切り離されるまで、その同じ TCB はそのタスクと関連付けられたままになります。 このフィールドについての詳細は、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

261 (TYPE-S, 'S8CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS S8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 トランザク

ションが、クライアント証明書の折衝中に、Secure Sockets Layer (SSL) を使用する場合は、そのトランザクションに CICS S8 モードの TCB が割り振られます。 S8モードTCBは、SSL要求が終了するまで同じタスクに関連付けられたままです。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

262 (TYPE-S, 'KY8DISPT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS キー 8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間に経過した時間の合計。

- EXECKEY=CICS で定義されている OPENAPI アプリケーション・プログラム、または OPENAPI オプションによって使用可能にされたタスク関連ユーザー出口プログラムをトランザクションが呼び出すと、L8 モードの TCB が割り振られます。 TCB とそのタスクとの間の関連は、トランザクションが切り離されるまで、そのまま維持されます。
- トランザクションが、クライアント証明書の折衝中に、Secure Sockets Layer (SSL) を使用する場合は、S8 モードの TCB が割り振られます。 S8 モードの TCB とそのタスクとの関連は、SSL 要求の存続期間の間維持されます。
- トランザクションが、JVM サーバーを使用してマルチスレッド処理を実行する場合は、T8 モードの TCB が割り振られます。 T8 モードの TCB に 1 つのスレッドが割り振られると、処理が完了するまでそのスレッドに対して同じ TCB が関連付けられた状態が続きます。
- トランザクションが、XPLINK オプションでコンパイル済みで、かつ EXECKEY=CICS で定義されている C または C++ プログラムを起動する場合、X8 モードの TCB が割り振られます。 この TCB とこのタスクとの間の関連は、プログラムが終了するまで、そのまま維持されます。

このフィールドは、タスク・ディスパッチ時間フィールド **USRDISPT** (グループ DFHTASK 内のフィールド ID 007) のコンポーネントです。

263 (TYPE-S, 'KY8CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS キー 8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 CICS キー 8 モードの TCB の使用法を、フィールド **KY8DISPT** (グループ DFHTASK のフィールド ID 262) の説明に記載しています。 このフィールドは、タスク CPU 時間フィールド **USRCPUT** (グループ DFHTASK 内のフィールド ID 008) のコンポーネントです。

264 (TYPE-S, 'KY9DISPT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS キー 9 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間に経過した時間の合計。

- トランザクションが EXECKEY=USER で定義された OPENAPI アプリケーション・プログラムを呼び出すと、L9 モードの TCB が割り振られます。 TCB とそのタスクとの間の関連は、トランザクションが切り離されるまで、そのまま維持されます。
- トランザクションが、XPLINK オプションでコンパイル済みで、かつ EXECKEY=USER で定義されている C または C++ プログラムを呼び出すと、X9 モードの TCB が割り振られます。 この TCB とこのタスクとの間の関連は、プログラムが終了するまで、そのまま維持されます。

このフィールドは、タスク・ディスパッチ時間フィールド USRDISPT (グループ DFHTASK 内のフィールド ID 007) のコンポーネントです。

265 (TYPE-S, 'KY9CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS キー 9 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 CICS キー 9 モードの TCB の使用法を、フィールド **KY9DISPT** (グループ DFHTASK のフィールド ID 264) の説明に記載しています。 このフィールドは、タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK 内のフィールド ID 008) のコンポーネントです。

266 (TYPE-S, 'L9CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS L9 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 トランザクションが、EXECKEY=USER で定義されている OPENAPI アプリケーション・プログラムを呼び出すと、トランザクションに CICS L9 モードの TCB が割り振られ、このトランザクションはその TCB を使用します。 ストレージ保護ファシリティーが非アクティブの場合、L9 モードの TCB ではなく、L8 モードの TCB が使用されます。 タスクに L9 モードの TCB を割り振られると、トランザクションが切り離されるまで、その同じ TCB はそのタスクと関連付けられたままになります。このフィールドは、合計タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 008)、およびタスク・キー 9 の CPU 時間フィールド KY9CPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 265) のコンポーネントです。

268 (TYPE-S, 'DSTCBMWT', 12 BYTES)
TCB ミスマッチ待ち、つまり要求に一致する使用可能な TCB は見つからなかったけれども、少なくとも 1 つの一致してはいない TCB が空きだったために、ユーザー・タスクが待機するのに費やした経過時間。

269 (TYPE-S, 'RODISPT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが CICS RO モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間の経過時間。RO TCB は、プログラムのロードに使用されます。ただし、そのプログラムをロードするコマンド (EXEC CICS LOAD、XCTL、または LINK) が、オープン TCB で現在実行中のアプリケーションによって発行された場合を除きます。その場合は、RO TCB の代わりにオープン TCB がプログラムのロードに使用されます。 CICS RO モード TCB は、CICS データ・セットのオープン/クローズや RACF® 呼び出しの発行というようなタスクにも使用されます。このフィールドは、タスク・ディスパッチ時間フィールド USRDISPT (グループ名: DFHTASK、フィールド ID: 007)、およびタスクの各種 TCB ミスマッチ時間フィールド MSDISPT (グループ名: DFHTASK、フィールド ID: 257) のコンポーネントです。

270 (TYPE-S, 'ROCPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが CICS RO モードの TCB 上の CICS ディスパッチャーによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。RO TCB は、プログラムのロードに使用されます。ただし、そのプログラムをロードするコマンド (EXEC CICS LOAD、XCTL、または LINK) が、オープン TCB で現在実行中のアプリケーションによって発行された場合を除きます。その場合は、RO TCB の代わりにオープン TCB がプログラムのロードに使用されます。 CICS RO モード TCB は、CICS データ・セットのオープン/クローズや RACF 呼び出

しの発行というようなタスクにも使用されます。このフィールドは、タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ名: DFHTASK、フィールド ID: 008) およびタスクの各種 TCB CPU 時間フィールド MSCPUT (グループ名: DFHTASK、フィールド ID: 258) のコンポーネントです。

271 (TYPE-S, 'X8CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS X8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 トランザクションが、XPLINK オプションでコンパイル済みで、かつ EXECKEY=CICS で定義されている C または C++ プログラムを呼び出すと、このトランザクションに CICS X8 モードの TCB が割り振られ、このトランザクションがその TCB を使用します。プログラムが EXECKEY=USER で定義されていても、ストレージ保護ファシリティーが非アクティブの場合は、X8 モードの TCB を割り振ることができます。 タスクに X8 モードの TCB を割り振られた後、プログラムが完了するまで、その同じ TCB はそのタスクと関連付けられたままになります。 このフィールドは、合計タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 008) および、タスク・キー 8 の CPU 時間フィールド KY8CPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 263) のコンポーネントです。

272 (TYPE-S, 'X9CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS X9 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 トランザクションが、XPLINK オプションでコンパイル済みで、かつ EXECKEY=USER で定義されている C または C++ プログラムを呼び出すと、このトランザクションに CICS X9 モードの TCB が割り振られ、このトランザクションがその TCB を使用します。 (ストレージ保護ファシリティーが非アクティブの場合、X9 モードの TCB ではなく、X8 モードの TCB が使用されます)。 タスクに X9 モードの TCB を割り振られた後、プログラムが完了するまで、その同じ TCB はそのタスクと関連付けられたままになります。 このフィールドは、合計タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 008)、およびタスク・キー 9 の CPU 時間フィールド KY9CPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 265) のコンポーネントです。

273 (TYPE-S, 'JVMITIME', 12 BYTES)
JVM 環境の初期化に費やした経過時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプを参照してください。

275 (TYPE-S, 'JVMRTIME', 12 BYTES)
予約フィールド、ゼロを戻します

279 (TYPE-S, 'DSMMSCWT', 12 BYTES)
使用可能な TCB がなく、MVS ストレージ制約のために TCB が作成されなかったために、ユーザー・タスクが待機するのに費やした経過時間。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

281 (TYPE-S, 'MAXSTDLY', 12 BYTES)
CICS システムがシステム初期設定パラメーター MAXSSLTCBS で設定された制限に達したために、ユーザー・タスクが CICS SSL TCB (S8 モード) を取得するために待機していた間の経過時間。 S8 モードのオープン TCB は、ユーザー・タスクによって、またはユーザー・タスクのために発行された Secure

Sockets Layer (SSL) の pthread 要求だけが使用します。 詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

282 (TYPE-S, 'MAXXTDLY', 12 BYTES)
CICS システムが (X8 または X9 モードの) CICS XP TCB について設定されている制限に達したために、ユーザー・タスクがこうしたタイプの TCB を取得するために待機していた間の経過時間。X8 モードおよび X9 モードのオープン TCB を使用するのは、XPLINK オプションを使用してコンパイルされた C および C++ プログラムのみです。 詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

283 (TYPE-S, 'MAXTTDLY', 12 BYTES)
CICS システムが使用可能なスレッドの限界に達したため、ユーザー・タスクが T8 TCB を取得するために待っている間に経過した時間。T8 モードのオープン TCB は、マルチスレッド処理を実行するために JVM サーバーで使用されます。 それぞれの T8 TCB が 1 つのスレッドで実行されます。 スレッド制限は、CICS 領域ごとに 2000 で、CICS 領域内の各 JVM サーバーは最大 256 のスレッドを保持できます。詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

285 (TYPE-S, 'PTPWAIT', 12 BYTES)
3270 ブリッジ・パートナー・トランザクションが完了するのをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 詳しくは、「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

345 (TYPE-A, 'ICSTACDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したローカルで実行されたすべての START CHANNEL 要求のコンテナー内のデータの全長 (バイト)。 この合計には、データに付加されているすべてのヘッダーの長さが含まれます。

346 (TYPE-A, 'ICSTRCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したリモート・システムで実行されるインターバル制御機能 START CHANNEL 要求の総数。

347 (TYPE-A, 'ICSTRCDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行したリモートで実行されたすべての START CHANNEL 要求のコンテナー内のデータの全長 (バイト)。この合計には、データに付加されているすべてのヘッダーの長さが含まれます。

348 (TYPE-S, 'ROMODDLY', 12 BYTES)
CICS RO TCB での再ディスパッチをユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 この時間は、各イベントの完了とユーザー・タスクの再ディスパッチの間の待ち時間を総計したものです。 ROMODDLY フィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントですが、再ディスパッチ時間 DISPWTT (102) フィールドのコンポーネントでもあります。

349 (TYPE-S, 'SOMODDLY', 12 BYTES)
CICS SO TCB での再ディスパッチをユーザー・タスクが待っている間に経過

した時間。 この時間は、各イベントの完了とユーザー・タスクの再ディスパッチの間の待ち時間を総計したものです。 SOMODDLY フィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントですが、再ディスパッチ時間 DISPWTT (102) フィールドのコンポーネントでもあります。

400 (TYPE-S, 'T8CPUT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが、CICS T8 モードの TCB 上の CICS ディスパッチャー・ドメインによってディスパッチされている間のプロセッサー時間。 T8 モードの TCB は、マルチスレッド処理を実行するために JVM サーバーで使用されます。 T8 モードの TCB に 1 つのスレッドが割り振られると、処理が完了するまでそのスレッドに対して同じ TCB が関連付けられた状態が続きます。 このフィールドは、合計タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 008) および、タスク・キー 8 の CPU 時間フィールド KY8CPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 263) のコンポーネントです。

401 (TYPE-S, 'JVMTHDWT', 12 BYTES)
CICS システムが CICS 領域内の JVM サーバーに関するスレッドの限界に達したため、ユーザー・タスクが JVM サーバー・スレッドを取得するために待っている間に経過した時間。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。 これは Liberty JVM サーバーには適用されません。

429 (TYPE-S, 'DSAPTHWT', 12 BYTES
ディスパッチャーの割り振り pthread 待ち時間。 Liberty プログラムへのリンク時に Liberty pthread が割り振られるのをトランザクションが待機する時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

430 (TYPE-C, 'CECMCHTP', 4 BYTES)
CICS 領域が実行される物理ハードウェアの、EBCDIC の CEC マシン・タイプ。 CEC (中央電子処理装置) は、一般的には CPC (中央演算処理複合システム) の同義語として使用されています。

431 (TYPE-C, 'CECMDLID', 16 BYTES)
CICS 領域が実行される物理ハードウェア環境の、EBCDIC の CEC モデル番号。

432 (TYPE-C, 'LPARNAME', 8 BYTES)
CICS 領域が実行されるプロセッサー上の EBCDIC の論理区画 (LPAR) の名前。

433 (TYPE-A, 'MAXTASKS', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが接続された時点における CICS 領域の (タスク数として表される) MXT または MAXTASKS 値。

434 (TYPE-A, 'CURTASKS', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが接続された時点においてシステム内でアクティブな状態にあったユーザー・トランザクションの数。

436 (TYPE-S, 'CPUTONCP', 12 BYTES)
タスクが実行された各 CICS TCB においてユーザー・タスクがディスパッチされた標準プロセッサー上で消費されたタスク・プロセッサー時間の合計。

このフィールドは、タスク CPU 時間フィールド USRCPUT (グループ DFHTASK 内のフィールド ID 008) のコンポーネントです。 専用プロセッサー (zIIP または zAAP) 上で消費されたタスク・プロセッサー時間は、USRCPUT フィールドに記録された時間から CPUTONCP フィールドに記録された時間を差し引くことによって計算できます。

TCB モードについては、TCB 統計を参照してください。

437 (TYPE-S, 'OFFLCPUT', 12 BYTES)
標準プロセッサー上で消費されたタスク・プロセッサー時間のうち、専用プロセッサー (zIIP または zAAP) へオフロードすることも可能であった時間の合計。

このフィールドは、タスク CPU 時間フィールド、USRCPUT (グループ DFHTASK のフィールド ID 008) のコンポーネントであると同時に、標準 CPU 時間フィールド、CPUTONCP (グループ DFHTASK のフィールド ID 436) のコンポーネントでもあります。標準プロセッサー上で消費されたタスク・プロセッサー時間のうち、専用プロセッサーへのオフロードが不可と判断される時間は、CPUTONCP フィールドに記録された時間から OFFLCPUT フィールドに記録された時間を差し引くことによって計算できます。

TCB モードについては、TCB 統計を参照してください。

451 (TYPE-C, 'ACAPPLNM', 64 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれる 64 文字のアプリケーション名。

452 (TYPE-C, 'ACPLATNM', 64 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれる 64 文字のプラットフォーム名。

453 (TYPE-A, 'ACMAJVER', 4 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれるアプリケーションのメジャー・バージョンで、4 バイトのバイナリー値として表される値です。

454 (TYPE-A, 'ACMINVER', 4 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれるアプリケーションのマイナー・バージョンで、4 バイトのバイナリー値として表される値です。

455 (TYPE-A, 'ACMICVER', 4 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれるアプリケーションのマイクロ・バージョンで、4 バイトのバイナリー値として表される値です。

456 (TYPE-C, 'ACOPERNM', 64 BYTES)
アプリケーション・コンテキスト・データに含まれる 64 文字の操作名。

470 (TYPE-A, 'ASTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された **EXEC CICS** 非同期 API コマンドの総数。**RUN TRANSID**、**FETCH CHILD**、**FETCH ANY**、および **FREE CHILD** コマンドが含まれます。

471 (TYPE-A, 'ASRUNCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された **EXEC CICS RUN TRANSID** コマンドの数。

472 (TYPE-A, 'ASFTCHCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された **EXEC CICS FETCH CHILD** および **EXEC CICS FETCH ANY** コマンドの数。

473 (TYPE-A, 'ASFREECT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された **EXEC CICS FREE CHILD** コマンドの数。

475 (TYPE-S, 'ASFTCHWT', 12 BYTES)
完了していない **EXEC CICS FETCH CHILD** または **EXEC CICS FETCH ANY** コマンドを発行した結果として、ユーザー・タスクが子タスクを待っている間に経過した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

476 (TYPE-S, 'ASRNATWT', 12 BYTES)
非同期サービスのドメインで管理される非同期の子タスクの限度の影響で、ユーザー・タスクが遅延した時間。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。 このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

グループ DFHTEMP 内のパフォーマンス・データ

DFHTEMP グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

グループ DFHTEMP で提供されている情報の、個々の一時記憶域キュー別の明細については、トランザクション・リソース・モニターを要求できます。 詳しくは、77 ページの『第 4 章 トランザクション・リソース・クラス・データ: データ・フィールドのリスト』を参照してください。

011 (TYPE-S, 'TSIOWTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが VSAM 一時記憶域入出力待ちしている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプ、および 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

044 (TYPE-A, 'TSGETCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクにより発行された補助一時ストレージまたはメイン一時ストレージへの一時ストレージGET要求の数。

046 (TYPE-A, 'TSPUTACT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した補助一時記憶域への PUT 要求の数。

047 (TYPE-A, 'TSPUTMCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した主一時記憶域への PUT 要求の数。

092 (TYPE-A, 'TSTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した一時記憶域要求の総数。 このフィールドは、ユーザー・タスクによって発行された一時ストレージ READQ

(TSGETCT)、READQ 共用 (TSGETSCT)、WRITEQ AUX (TSPUTACT)、WRITEQ MAIN (TSPUTMCT)、WRITEQ 共用 (TSPUTSCT)、および DELETEQ 要求の合計です。

178 (TYPE-S, 'TSSHWAIT', 12 BYTES)
一時記憶域データ・サーバーへの非同期共用一時記憶域要求が完了するのをユーザー・タスクが待っていたときに経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプと 「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

注: このフィールドは、タスク一時停止時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

460 (TYPE-A, 'TSGETSCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクにより発行された共用一時ストレージからの一時ストレージGET要求の数。

461 (TYPE-A, 'TSPUTSCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクにより発行された共用一時ストレージへの一時ストレージPUT要求の数。

グループ DFHTERM 内のパフォーマンス・データ

DFHTERM グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

002 (TYPE-C, 'TERM', 4 BYTES)
端末またはセッション識別。 タスクが端末またはセッションに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。

009 (TYPE-S, 'TCIOWTT', 12 BYTES)
RECEIVE 要求の発行後にユーザー・タスクが端末オペレーターからの入力を待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

034 (TYPE-A, 'TCMSGIN1', 4 BYTES)
タスクの基本端末ファシリティー (LUTYPE6.1 および LUTYPE6.2 (APPC) を含むが、MRO (IRC) は除く) から受信されたメッセージの数。

035 (TYPE-A, 'TCMSGOU1', 4 BYTES)
タスクの基本端末ファシリティー (LUTYPE6.1 および LUTYPE6.2 (APPC)を含むが、MRO (IRC) は除く) に送信されたメッセージの数。

067 (TYPE-A, 'TCMSGIN2', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.1 代替端末ファシリティーから受信したメッセージの数。

068 (TYPE-A, 'TCMSGOU2', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.1 代替端末ファシリティーに送信したメッセージの数。

069 (TYPE-A, 'TCALLOCT', 4 BYTES)
LUTYPE6.2 (APPC)、LUTYPE6.1、および IRC セッションのためにユーザー・タスクが発行した、TCTTE ALLOCATE 要求の数。

083 (TYPE-A, 'TCCHRIN1', 4 BYTES)
タスクの基本端末ファシリティー (LUTYPE6.1 および LUTYPE6.2 (APPC) を含むが、MRO (IRC) は除く) から受信された文字数。

084 (TYPE-A, 'TCCHROU1', 4 BYTES)
タスクの基本端末ファシリティー (LUTYPE6.1 および LUTYPE6.2 (APPC) を含むが、MRO (IRC) は除く) に送信された文字数。

085 (TYPE-A, 'TCCHRIN2', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.1 代替端末ファシリティーから受信した文字数。 *(ISC APPC には適用できません。)*

086 (TYPE-A, 'TCCHROU2', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.1 代替端末ファシリティーに送信した文字数。 *(ISC APPC には適用できません。)*

100 (TYPE-S, 'IRIOWTT', 12 BYTES)
MRO リンクのこの端点でユーザー・タスクが制御を待っている間に経過した時間。 詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

111 (TYPE-C, 'LUNAME', 8 BYTES)
このトランザクションに関連付けられている端末の z/OS Communications Server SNA 論理装置名 (使用可能な場合)。 タスクがアプリケーション所有またはファイル所有の領域で実行している場合、LUNAME は、MRO、LUTYPE6.1、および LUTYPE6.2 (APPC) の起点接続の総称アプリケーション ID です。 起点接続が外部の CICS インターフェース (EXCI) である場合は、LUNAME はブランクです。

133 (TYPE-S, 'LU61WTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.1 接続またはセッションで入出力を待っている間に経過した時間。 この時間には、LUTYPE6.1 接続を介した会話のために生じた待機時間も含まれますが、LUTYPE6.1 同期点のフローによって生じた待機時間は含まれません。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

134 (TYPE-S, 'LU62WTT', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが LUTYPE6.2 (APPC) 接続またはセッションで入出力を待っている間に経過した時間。 この時間には、LUTYPE6.2 (APPC) 接続を介した会話のために生じた待機時間も含まれますが、LUTYPE6.2 (APPC) 同期点フローによって生じた待機時間は含まれません。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

135 (TYPE-A, 'TCM62IN2', 4 BYTES)
LUTYPE6.2 (APPC) セッションのユーザー・タスクが、代替ファシリティーから受信したメッセージの数。

136 (TYPE-A, 'TCM62OU2', 4 BYTES)
LUTYPE6.2 (APPC) セッションのユーザー・タスクが、代替ファシリティーに送信したメッセージの数。

137 (TYPE-A, 'TCC62IN2', 4 BYTES)
LUTYPE6.2 (APPC) セッションのユーザー・タスクが、代替ファシリティーから受信した文字数。

138 (TYPE-A, 'TCC62OU2', 4 BYTES)
LUTYPE6.2 (APPC) セッションのユーザー・タスクが、代替ファシリティーに送信した文字数。

165 (TYPE-A, 'TERMINFO', 4 BYTES)
このタスクの基本ファシリティーに関する端末またはセッション情報で、TERM フィールドのフィールド ID 002 で指定された値です。タスクが端末またはセッション・ファシリティーに関連付けられていない場合は、ヌルです。

バイト **0**
このタスクが端末またはセッションに関連付けられているかどうかを識別します。 このフィールドは、以下のいずれかの値に設定できます。

X'00' なし

X'01' 端末

X'02' セッション

バイト **1**
このタスクの基本ファシリティーがセッション (バイト 0 = x'02') である場合は、このフィールドはセッション・タイプを識別します。 このフィールドは、以下のいずれかの値に設定できます。

X'00' なし

X'01' IRC

X'02' IRC XM

X'03' IRC XCF

X'04' LU61

X'05' LU62 シングル

X'06' LU62 並列

バイト **2**
フィールド TERM で端末 ID またはセッション ID に対して定義されているアクセス方式を識別します。 このフィールドは、以下のいずれかの値に設定できます。

X'00' なし

X'01' Communications Server

X'02' 予約

X'03' BSAM

X'04' 予約

X'05' 予約

X'06' BGAM

X'07' CONSOLE

バイト **3**

TERM における端末 ID またはセッション ID の端末タイプまたはセッション・タイプを識別します。

- RDO Typeterm を参照。

入力条件定義の一覧については、ASSIGN TERMCODEを参照してください。

169 (TYPE-C, 'TERMCNNM', 4 BYTES)

端末セッションの接続名。 このトランザクションに関連付けられている端末ファシリティーがセッションの場合は、このフィールドは所有側の接続 (システム ID) の名前になります。

端末情報 TERMINFO (165) フィールドのバイト 0 を使用すると、端末ファシリティーをセッションとして識別できます。 この値が x'02' の場合、端末ファシリティーはセッションです。

197 (TYPE-C, 'NETID', 8 BYTES)

ネットワーク修飾名が Communications Server から受信されたものである場合は、NETID。 それがリソースで、ネットワーク修飾名がまだ受信されていなかった場合、NETID は 8 個のブランクになります。 それ以外のすべての場合は、ヌルになります。

198 (TYPE-C, 'RLUNAME', 8 BYTES)

ネットワーク修飾名が Communications Server から受信されたものである場合は、実ネットワーク名。 それ以外のすべての場合、このフィールドは LUNAME (フィールド ID 111) です。 非 Communications Server リソースの場合は、ヌルになります。

343 (TYPE-S, 'TCALWTT', 12 BYTES)

ユーザー・タスクが MRO (領域間通信)、LU6.1、または LU6.2 セッションに関する割り振り要求を待っている間に経過した時間。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

このフィールドは、タスク中断時間 SUSPTIME (014) フィールドのコンポーネントです。

グループ DFHWEBB 内のパフォーマンス・データ

DFHWEBB グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

224 (TYPE-A, 'WBREADCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート READ HTTPHEADER 要求、READ FORMFIELD 要求、および READ QUERYPARM 要求の数。

225 (TYPE-A, 'WBWRITCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート WRITE HTTPHEADER 要求の数。

231 (TYPE-A, 'WBRCVCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート RECEIVE 要求の数。

232 (TYPE-A, 'WBCHRIN', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポート RECEIVE 要求によって受信されたバイト数。

233 (TYPE-A, 'WBSENDCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート SEND 要求の数。

234 (TYPE-A, 'WBCHROUT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポート SEND 要求によって送信されたバイト数。

235 (TYPE-A, 'WBTOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート要求の総数。

236 (TYPE-A, 'WBREPRCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、一時記憶域内のリポジトリーからの読み取りの数。

237 (TYPE-A, 'WBREPWCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、一時記憶域内のリポジトリーへの書き込みの数。

238 (TYPE-A, 'WBEXTRCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート EXTRACT 要求の数。

239 (TYPE-A, 'WBBRWCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート HTTPHEADER、FORMFIELD、および QUERYPARM (STARTBROWSE、READNEXT、および ENDBROWSE) のブラウズ要求の数。

331 (TYPE-A, 'WBREDOCT', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの READ HTTPHEADER 要求の数。

332 (TYPE-A, 'WBWRTOCT', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの WRITE HTTPHEADER 要求の数。

333 (TYPE-A, 'WBRCVIN1', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの RECEIVE 要求と CONVERSE 要求の数。

334 (TYPE-A, 'WBCHRIN1', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの RECEIVE 要求と CONVERSE 要求によって受信されたバイト数。この数には、応答の HTTP ヘッダーが含まれます。

335 (TYPE-A, 'WBSNDOU1', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの SEND 要求と CONVERSE 要求の数。

336 (TYPE-A, 'WBCHROU1', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの SEND 要求と CONVERSE 要求によって送信されたバイト数。この数には、要求の HTTP ヘッダーが含まれます。

注: **WEB CONVERSE** コマンドを使用して要求を行うと、この要求により送信要求と受信要求 (WBSNDOU1 と WBRCVIN1) の両方のカウント、および文字送信と文字受信 (WBCHRIN1 と WBCHROU1) のカウントが増えます。

337 (TYPE-A, 'WBPARSCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した、CICS Web サポート PARSE URL 要求の数。

338 (TYPE-A, 'WBBRWOCT', 4 BYTES)
CICS が HTTP クライアントであるときに、ユーザー・タスクが発行した CICS Web サポートの BROWSE HTTPHEADER 要求 (STARTBROWSE、READNEXT、および ENDBROWSE) の数。

339 (TYPE-S, 'WBURIOPN', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **WEB OPEN URIMAP** 要求を処理している間に経過した時間の合計。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

340 (TYPE-A, 'WBIWBSCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS INVOKE SERVICE** および **EXEC CICS INVOKE WEBSERVICE** 要求の数。

341 (TYPE-A, 'WBREPRDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって、一時記憶域のリポジトリーから読み取られたデータの合計の長さ (バイト単位)。

342 (TYPE-A, 'WBREPWDL', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって、一時記憶域のリポジトリーに書き込まれたデータの合計の長さ (バイト単位)。

380 (TYPE-C, 'WBURIMNM', 8 BYTES)
CICS Web サポート、Atom フィード、および Web サービス・アプリケーションの場合、このタスクによって処理されたインバウンド要求の URI にマップされた URIMAP リソース定義の名前。

381 (TYPE-C, 'WBPIPLNM', 8 BYTES)
Web サービス・アプリケーションで、このタスクによって処理されるサービス要求上で実行するメッセージ・ハンドラーについての情報を提供するために使用された、PIPELINE リソース定義の名前。

382 (TYPE-C, 'WBATMSNM', 8 BYTES)
Atom フィードで、このタスクを処理するために使用された ATOMSERVICE リソース定義の名前。

383 (TYPE-C, 'WBSVCENM', 32 BYTES)
Web サービス・アプリケーションで、このタスクを処理するのに使用された WEBSERVICE リソース定義の名前。

384 (TYPE-C, 'WBSVOPNM', 64 BYTES)
Web サービス・アプリケーションで、Web サービス・オペレーション名の最初の 64 バイト。

385 (TYPE-C, 'WBPROGNM', 8 BYTES)
CICS Web サポートで、このタスクによって処理される HTTP 要求に対してアプリケーション生成の応答を提供するために使用された、URIMAP リソース定義からのプログラムの名前。

386 (TYPE-A, 'WBSFCRCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS SOAPFAULT CREATE** コマンドの数。

387 (TYPE-A, 'WBSFTOCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS SOAPFAULT ADD**、**CREATE**、および **DELETE** コマンドの総数。

388 (TYPE-A, 'WBISSFCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS INVOKE SERVICE** コマンドおよび **EXEC CICS INVOKE WEBSERVICE** コマンドの応答として受信された SOAP 障害の総数。

390 (TYPE-A, 'WBSREQBL', 4 BYTES)
Web サービス・アプリケーションで、SOAP 要求本体の長さ。

392 (TYPE-A, 'WBSRSPBL', 4 BYTES)
Web サービス・アプリケーションで、SOAP 応答本体の長さ。

393 (TYPE-S, 'WBURIRCV', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **WEB RECEIVE** 要求と受信側の **WEB CONVERSE** 要求を処理している間に経過した時間の合計。これらの要求のターゲットであるセッションは、**WEB OPEN URIMAP** コマンドによって開かれます。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

394 (TYPE-S, 'WBURISND', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **WEB SEND** 要求と送信側の **WEB CONVERSE** 要求を処理している間に経過した時間の合計。これらの要求のターゲットであるセッションは、**WEB OPEN URIMAP** コマンドによって開かれます。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

412 (TYPE-A, 'MLXSSTDL', 4 BYTES)
z/OS XML System Services パーサーを使用して構文解析された文書の合計の長さ。

413 (TYPE-A, 'MLXMLTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS TRANSFORM** コマンドの数。

419 (TYPE-C, 'NJSAPPNM', 32 BYTES)
タスクの開始元となった Node.js アプリケーションの名前。

420 (TYPE-A, 'WSACBLCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS WSACONTEXT BUILD** コマンドの数。

421 (TYPE-A, 'WSACGTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS WSACONTEXT GET** コマンドの数。

422 (TYPE-A, 'WSAEPCCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **EXEC CICS WSAEPR CREATE** コマンドの数。

423 (TYPE-A, 'WSATOTCT', 4 BYTES)
ユーザー・タスクによって発行された EXEC CICS WS-Addressing コマンドの総数。

424 (TYPE-A, 'WBJSNRQL', 4 BYTES)
JSON Webサービス・アプリケーションでは、JSONメッセージ要求の長さです。

425 (TYPE-A, 'WBJSNRPL', 4 BYTES)
JSON Webサービス・アプリケーションでは、JSONメッセージ応答の長さです。

URIMAP 使用タイプのモニター・フィールド

表 6 は、DFHWEBB グループのどのフィールドが URIMAP リソース定義によって提供される各種類のサービスに適用されるかを、USAGE 属性および URIMAP リソース定義の他の属性による決定に基づいて示します。

表 *6. URIMAP* 使用タイプのモニター・フィールド

フィールド **ID**	**USAGE (PIPELINE): Web** サービス	**USAGE (ATOM): Atom** フィード	**USAGE (SERVER): CICS Web** サポート動的応答 **(**プログラムを使用**)**	**USAGE (SERVER): CICS Web** サポート静的応答 **(zFS** ファイルまたは文書テンプレートを使用**)**	**USAGE (CLIENT)**
339 WBURIOPN	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル	ユーザー・タスクが発行した **WEB OPEN URIMAP** 要求をユーザー・タスクが処理している間に経過した時間の合計。
380 WBURIMNM	URIMAP リソース定義の名前	URIMAP リソース定義の名前	URIMAP リソース定義の名前	URIMAP リソース定義の名前	ヌル
381 WBPIPLNM	PIPELINE リソース定義の名前	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル
382 WBATMSNM	ヌル	ATOMSERVICE リソース定義の名前	ヌル	ヌル	ヌル
383 WBSVCENM	WEBSERVICE リソース定義の名前	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル
384 WBSVOPNM	WEBSERVICE オペレーション名	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル
385 WBPROGNM	ヌル	ヌル	PROGRAM リソース定義の名前	ヌル	ヌル

表 6. *URIMAP* 使用タイプのモニター・フィールド (続き)

フィールド **ID**	**USAGE (PIPELINE): Web** サービス	**USAGE (ATOM): Atom** フィード	**USAGE (SERVER): CICS Web** サポート動的応答 **(**プログラムを使用**)**	**USAGE (SERVER): CICS Web** サポート静的応答 **(zFS** ファイルまたは文書テンプレートを使用**)**	**USAGE (CLIENT)**
393 WBURIRCV	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル	ユーザー・タスクが発行した **WEB RECEIVE** 要求と受信側の **WEB CONVERSE** 要求を処理している間に経過した時間の合計。
394 WBURISND	ヌル	ヌル	ヌル	ヌル	ユーザー・タスクが発行した **WEB SEND** 要求と送信側の **WEB CONVERSE** 要求を処理している間に経過した時間の合計。

グループ **DFHWEBC** 内のパフォーマンス・データ

DFHWEBC グループ内のパフォーマンス・データ・フィールドについての記述で、各フィールドの数値 ID、タイプ、およびサイズが含まれます。

379 (TYPE-S, 'WBSVINVK', 12 BYTES)
ユーザー・タスクが WEBSERVICE に対する **INVOKE SERVICE** 要求を処理している間に経過した時間の合計。詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

第 3 章 例外クラス・データ: データ・フィールドのリスト

例外クラス・データが、モニター・レコードの例外データ・セクションに表示される順序でリストされています。

例外レコードは、固定フォーマットです。 モニター・レコードの例外データ・セクションのフォーマットは、DSECT MNEXCDS によってマップすることができます。

EXCMNTRN (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション識別。

EXCMNTER (TYPE-C, 4 BYTES)
端末識別名。 タスクが端末またはセッションに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。

EXCMNUSR (TYPE-C, 8 BYTES)
タスク作成時のユーザー識別。 この ID は、接続時間セキュリティーを使用可能にした MRO リンクまたは APPC リンクを介して、ATTACH 要求を受け取った結果として作成されたタスクの、リモート・ユーザー ID にすることもできます。

EXCMNTST (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクションの開始タイプ。 下位バイト (0 および 1) は、以下に設定されます。

"TO" 端末入力から接続されます。

"S" データなしで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"SD" データ付きで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"QD" 一時データ・トリガー・レベルによって接続されます。

"U " ユーザー要求によって接続されます。

"TP" 端末 TCTTE トランザクション ID から接続されます。

"SZ" フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) によって接続されます。

EXCMNSTA (TYPE-T, 8 BYTES)
例外の開始時刻。

EXCMNSTO (TYPE-T, 8 BYTES)
例外の終了時刻。

注: パフォーマンス・クラスの例外待ち時間フィールド EXWTTIME (103) は、例外の終了時刻 (EXCMNSTO) から例外の開始時刻 (EXCMNSTA) を引いて計算されます。

EXCMNTNO (TYPE-P, 4 BYTES)
トランザクション識別番号。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

EXCMNTPR (TYPE-C, 4 BYTES)
タスクに対するモニターが初期設定されたときの、トランザクションの優先順位 (下位バイト)。

EXCMNLUN (TYPE-C, 4 BYTES)
このトランザクションに関連付けられている端末の z/OS Communications Server 論理装置名 (使用可能な場合)。 タスクが端末に関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。

EXCMNEXN (TYPE-A, 4 BYTES)
このタスクの例外シーケンス番号。

EXCMNRTY (TYPE-C, 8 BYTES)
例外リソース・タイプ。 EXCMNRTY に指定可能な値は、 74 ページの表 7 に示されています。

EXCMNRID (TYPE-C, 8 BYTES)
例外リソース識別。 EXCMNRID に指定可能な値は、 74 ページの表 7 に示されています。

EXCMNTYP (TYPE-A, 2 BYTES)
例外タイプ。 このフィールドは、以下のいずれかの値に設定できます。

X'0001'
待機による例外 (EXCMNWT)。

X'0002'
バッファー待ちによる例外 (EXCMNBWT)。

X'0003'
ストリング待ちによる例外 (EXCMNSWT)。

X'0004'
超過したポリシーのしきい値による例外 (EXCMNPOL)

EXCMNTCN (TYPE-C, 8 BYTES)
トランザクション・クラス名。 トランザクションがトランザクション・クラスにない場合、このフィールドはヌルです。

EXCMNSRV (TYPE-C, 8 BYTES)
このトランザクションの z/OS ワークロード・マネージャー・サービス・クラス名。 このフィールドは、アクティブの z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・ポリシーで、CICS サブシステムに対してトランザクション分類規則が定義されていない場合、または トランザクションが別の CICS 領域において WLM で分類されていた場合は、ヌルになります。

EXCMNRPT (TYPE-C, 8 BYTES)
このトランザクションの z/OS ワークロード・マネージャー・レポート・クラス名。 このフィールドは、アクティブの z/OS ワークロード・マネージャー (WLM) サービス・ポリシーで、CICS サブシステムに対してトランザクション分類規則が定義されていない場合、または トランザクションが別の CICS 領域において WLM で分類されていた場合は、ヌルになります。

EXCMNNPX (TYPE-C, 20 BYTES)
z/OS Communications Server ネットワークが、起点システムを認識するときの完全修飾名。 この名前は、(タスクがローカル端末に接続されたときに) TCT

から派生したネット名、または ISC APPC または IRC 付加ヘッダーの一部として渡されたネット名のいずれかを使用して、接続時に割り当てられます。 この名前の右端には、少なくとも 3 つの引き渡しバイト (X'00') が存在します。

起点端末が ISC APPC または IRC リンクを経由する z/OS Communications Server デバイスの場合は、ネット名は *networkid.LUname* になります。端末が z/OS Communications Server デバイスではない場合は、ネット名は *networkid.generic_applid* になります。

ISC LUTYPE6.1 付加ヘッダーの一部として渡されたすべての起点情報のフォーマットは、非 z/OS Communications Server 端末の発信元と同じです。

発信元が外部の CICS インターフェース (EXCI) セッションで通信している場合、この名前は起点システムから派生した以下の情報を連結したものになります。

```
'DFHEXCIU | .      | MVS Id   | Address space Id (ASID)'
 8 bytes  | 1 byte | 4 bytes  | 4 bytes
```

すなわち、この名前は、以下で構成される 17 バイトの LU 名です。

- DFHEXCIU に設定された 8 バイトの目印。
- ピリオド (.) を含む 1 バイト・フィールド。.
- 実行中のクライアント・プログラムが置かれている MVS ID (文字) を含む 4 バイトのフィールド。
- 実行中のクライアント・プログラムが置かれているアドレス・スペース ID (ASID) を含む 4 バイトのフィールド。 このフィールドには、2 バイトの 16 進アドレス・スペース ID の 4 文字 EBCDIC 表現が含まれています。

EXCMNNSX (TYPE-C, 8 BYTES)

起点システム内で作業単位を認識するための名前。 この最後の名前は、STCK 派生トークン (タスクがローカル端末に接続されている場合)、または ISC APPC または IRC 付加ヘッダーの一部として渡された作業単位 ID のいずれかを使用して、接続時に割り当てられます。

このフィールドの最初の 6 バイトは、起点システムのシステム・クロックから派生するバイナリー値で、数カ月のインターバルで循環します。 このフィールドの最後の 2 バイトは、期間カウント用です。 これらのバイトは、同期点アクティビティーの結果、タスクの存続中に変化する可能性があります。

注**:** MRO または ISC を使用している場合は、EXCMNNSX フィールドを EXCMNNPX フィールドと結合して、タスクを一意的に識別する必要があります。これは、EXCMNNSX フィールドは起点の CICS システムに対してのみ固有であるためです。

EXCMNTRF (TYPE-C, 8 BYTES)

トランザクション・フラグ。これは、64 ビットのストリングで、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。 詳しくは、パフォーマンス・データ・グループ DFHTASK のフィールド 164 (TRANFLAG) を参照してください。

EXCMNFCN (TYPE-C, 4 BYTES)

トランザクション・ファシリティー名。 トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。 トランザクション・

ファシリティー・タイプ (存在する場合) は、トランザクション・フラグ・フィールド EXCMNTRF のバイト 0 を使用して識別できます。

EXCMNCPN (TYPE-C, 8 BYTES)
例外状態が発生したときに、このユーザー・タスクに対して現在実行しているプログラムの名前。

EXCMNBTR (TYPE-C, 4 BYTES)
3270 ブリッジ・トランザクション識別。

EXCMNURI (TYPE-C, 16 BYTES)
RRMS/MVS リカバリー単位 ID (URID)。

EXCMNRIL (TYPE-A, 4 BYTES)
例外リソース ID の長さ。

EXCMNRIX (TYPE-C, 256 BYTES)
例外リソース ID (拡張)。

EXCMNNID (TYPE-C, 8 BYTES)
ネットワーク修飾名が z/OS Communications Server から受信されたものである場合は、NETID。 ネットワーク修飾名がまだ受信されていないときの z/OS Communications Server リソースの場合、NETID は 8 個のブランクになります。それ以外の場合はすべて、このフィールドはヌルです。

EXCMNRLU (TYPE-C, 8 BYTES)
ネットワーク修飾名が z/OS Communications Server から受信されたものである場合は、実ネットワーク名。それ以外のすべての場合、このフィールドは LUNAME (フィールド ID 111) です。非 z/OS Communications Server リソースの場合、このフィールドはヌルです。

以下の表に、フィールド EXCMNTYP、EXCMNRTY、および EXCMNRID の値および関係を示します。

表 7. *EXCMNTYP*、*EXCMNRTY*、*EXCMNRID* の取り得る値： 例外タイプ、リソース・タイプ、およびリソース識別の間の関係。

EXCMNTYP 例外タイプ	**EXCMNRTY** リソース・タイプ	**EXCMNRID** リソース **ID**	意味
EXCMNPOL	'DATABASE'	rule_id **1**	データベース要求ポリシー規則が超過しました
EXCMNPOL	'EXECCICS'	rule_id **1**	EXEC CICS 要求のポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'FILE'	rule_id **1**	ファイル要求ポリシー規則が超過しました
EXCMNPOL	'MQ'	rule_id **1**	IBM MQ 要求ポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'NAMECTR'	rule_id **1**	名前付きカウンター要求ポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'PROGRAM'	rule_id **1**	プログラム要求ポリシー規則が超過しました
EXCMNPOL	'START'	rule_id **1**	開始要求のポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'STORAGE'	rule_id **1**	ストレージまたはストレージ要求のポリシー規則が超過しました
EXCMNPOL	'SYNCPT'	rule_id **1**	同期点要求ポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'TDQUEUE'	rule_id **1**	TD Queue 要求ポリシー規則を超過しました
EXCMNPOL	'TIME'	rule_id **1**	時間ポリシー規則が超過しました

表 7. *EXCMNTYP*、*EXCMNRTY*、*EXCMNRID* の取り得る値 (続き): 例外タイプ、リソース・タイプ、およびリソース識別の間の関係。

EXCMNTYP 例外タイプ	**EXCMNRTY** リソース・タイプ	**EXCMNRID** リソース **ID**	意味
EXCMNPOL	'TSQUEUE'	rule_id **1**	TS Queue バイトまたは TS Queue 要求のポリシー規則を超過しました
EXCMNWT	'CFDTLRSW'	プール名	カップリング・ファシリティーのデータ・テーブルのロック (要求) スロット待ち
EXCMNWT	'CFDTPOOL'	プール名	カップリング・ファシリティーのデータ・テーブルの非ロック (要求) スロット待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'UDSA'	UDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'EUDSA'	EUDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'CDSA'	CDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'ECDSA'	ECDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'SDSA'	SDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'ESDSA'	ESDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'RDSA'	RDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'ERDSA'	ERDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'GCDSA'	GCDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'GUDSA'	GUDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'STORAGE'	'GSDSA'	GSDSA ストレージ待ち
EXCMNWT	'TEMPSTOR'	TS Qname	一時記憶域待ち
EXCMNSWT	'FILE'	filename	ファイルに関連付けられているストリング待ち
EXCMNSWT	'LSRPOOL'	filename	LSRPOOL に関連付けられているストリング待ち
EXCMNSWT	'TEMPSTOR'	TS Qname	DFHTEMP に関連付けられているストリング待ち
EXCMNBWT	'LSRPOOL'	LSRPOOL	LSRPOOL に関連付けられているバッファー待ち
EXCMNBWT	'TEMPSTOR'	TS Qname	DFHTEMP に関連付けられているバッファー待ち

注:

1 **'rule_id'**
rule_id の名前は、bundle_id、ポリシー名、および規則名の連結 **<bundle id>.<policy name>.<rule name>** です。

EXCMNRID には、rule_id の最初の 8 文字が含まれており、絶対パス名は EXCMNRIX にあります。

第 4 章 トランザクション・リソース・クラス・データ: データ・フィールドのリスト

トランザクション・リソース・クラス・データは、モニター・レコードのトランザクション・リソース・データ・セクションに表示される順序でリストされています。

CICS の 1 回の実行で生成されるトランザクション・リソース・データ・レコードはすべて同じ形式であり、リソース・レコード・ヘッダーの後、モニター対象の各リソースごとに 1 つのリソース・データ・セクションが続きます。 モニター・レコードのトランザクション・リソース・データ・セクションのフォーマットは、DSECT DFHMNRDS によってマップすることができます。

ヘッダー・フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内のトランザクション・ヘッダー・フィールドを示します。

MNR_ID_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション ID。

MNR_ID_TERMID (TYPE-C, 4 BYTES)
端末 ID。 タスクが端末またはセッションに関連付けられていない場合、この識別フィールドはヌルです。

MNR_ID_USERID (TYPE-C, 8 BYTES)
タスク作成時のユーザー識別。 接続時刻のセキュリティーが使用可能になっている MRO または APPC リンクを経由して ATTACH 要求を受け取った結果として作成されたタスクの、リモート・ユーザー識別であることもあります。

MNR_ID_STYPE (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクションの開始タイプ。 高位バイト (0 および 1) は、以下のいずれかの値を取ることができます。

"TO" 端末入力から接続されます。

"S " データなしで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"SD" データ付きで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"QD" 一時データ・トリガー・レベルによって接続されます。

"U " ユーザー要求によって接続されます。

"TP" 端末 TCTTE トランザクション ID から接続されます。

"SZ" フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) によって接続されます。

MNR_ID_START (TYPE-T, 8 BYTES)
トランザクションの開始時刻。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

MNR_ID_STOP (TYPE-T, 8 BYTES)
トランザクションの停止時刻。

MNR_ID_TASKNO (TYPE-A, 4 BYTES)
トランザクションの識別番号 (タスク接続時にトランザクションに割り振られたタスク番号)。

MNR_ID_LUNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
このトランザクションに関連付けられている端末の z/OS Communications Server 論理装置名 (使用可能な場合)。 タスクがアプリケーション所有またはファイル所有の領域で実行している場合、LUNAME は、MRO、LUTYPE6.1、および LUTYPE6.2 (APPC) の起点接続の総称アプリケーション ID です。 起点接続が外部の CICS インターフェース (EXCI) である場合は、LUNAME はブランクです。

MNR_ID_PGMNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
接続時に起動された最初のプログラムの名前。 詳しくは、DFHPROG グループのパフォーマンス・データ・フィールド 071 (PGMNAME) を参照してください。

MNR_ID_UOW_PX (TYPE-C, 20 BYTES)
このフィールドには、パフォーマンス・データ・フィールド NETUOWPX と同じ情報が含まれています。 詳しくは、DFHTASK グループのパフォーマンス・データ・フィールド 097 (NETUOWPX) を参照してください。

MNR_ID_UOW_SX (TYPE-C, 8 BYTES)
このフィールドには、パフォーマンス・クラス・データ・フィールド NETUOWSX と同じ情報が含まれています。 詳しくは、DFHTASK グループのパフォーマンス・データ・フィールド 098 (NETUOWSX) を参照してください。

MNR_ID_RSYSID (TYPE-C, 4 BYTES)
このトランザクションが動的または静的に経路指定された先のリモート・システムの名前 (システム ID)。 詳しくは、DFHCICS グループのパフォーマンス・データ・フィールド 130 (RSYSID) を参照してください。

MNR_ID_TRN_FLAGS (TYPE-A, 8 BYTES)
トランザクション・フラグ。これは、64 ビットのストリングで、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。 詳しくは、DFHTASK グループのパフォーマンス・データ・フィールド 164 (TRANFLAG) を参照してください。

MNR_ID_FCTYNAME (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション・ファシリティー名。 トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。 トランザクション・フラグ (MNR_ID_TRN_FLAGS) フィールドのバイト 0 を使用すると、トランザクション・ファシリティー・タイプが存在している場合はそれを識別することができます。 詳しくは、DFHTASK グループのパフォーマンス・データ・フィールド 163 (FCTYNAME) を参照してください。

MNR_ID_RTYPE (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション・リソース・モニター・レコード・タイプ (下位バイト 3)。現在のところこのレコード・タイプは、タスク終了のレコード出力を示す値であ

る T しか持つことができません。 レコード・タイプについて詳しくは、DFHCICS グループのパフォーマンス・データ・フィールド 112 (RTYPE) を参照してください。

MNR_ID_TERMINFO (TYPE-A, 4 BYTES)
タスクの基本ファシリティーの端末またはセッション情報。端末情報について詳しくは、DFHCICS グループのパフォーマンス・データ・フィールド 165 (TERMINFO) を参照してください。

MNR_ID_TERMCNNM (TYPE-C, 4 BYTES)
端末セッションの接続名。 このトランザクションに関連付けられている端末ファシリティーがセッションの場合は、このフィールドは所有側の接続 (システム ID) の名前になります。 詳しくは、DFHTERM グループのパフォーマンス・データ・フィールド 169 (TERMCNNM) を参照してください。

MNR_ID_RES_FLAGS (TYPE-A, 4 BYTES)
リソースの状況情報を通知するために使用される、32 ビットのストリングのリソース・フラグ。

バイト **0**
リソースの状況情報:

ビット **0**
トランザクションが、モニター対象のファイルの最大数 (MCT で定義されています) を超えました (X'80')。

ビット **1**
トランザクションが、モニター対象の一時記憶域キューの最大数 (MCT で定義されています) を超えました (X'40')。

ビット **2**
トランザクションが、モニター対象の分散プログラム・リンク要求の最大数 (MCT で定義されています) を超えました (X'20')。

ビット **3** から **7**
予約済み。

バイト **1** から **3**
予約済み。

MNR_ID_ISIPICNM (TYPE-C, 8 BYTES)
ユーザー・タスクを接続した TCP/IP サービスの IPIC (IPCONN) 項目の名前。 詳しくは、DFHSOCK パフォーマンス・クラス・データ・グループのフィールド 305 (ISIPICNM) を参照してください。

MNR_ID_CLIPADDR (TYPE-C, 40 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。 詳しくは、DFHSOCK パフォーマンス・クラス・データ・グループのフィールド 318 (CLIPADDR) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_NETWKID (TYPE-C, 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信されたネットワーク ID。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 359 (ONETWKID) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_APPLID (TYPE-C, 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信された CICS 領域のアプリケーション ID (例えば、CWXN タスクが実行された領域)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 360 (OAPPLID) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_ATT_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
親タスクが開始された時刻 (例、CWXN タスク)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 361 (OSTART) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_TRANNUM (TYPE-P, 4 BYTES)
親タスクの数 (例、CWXN タスク)。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 362 (OTRANNUM) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
親タスクのトランザクション ID (TRANSID) (例、CWXN タスク)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 363 (OTRAN) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_USERID (TYPE-C, 8 BYTES)
親タスクに応じて、発信 Userid-2 または Userid-1 (例、CWBA からの)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 364 (OUSERID) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_USER_CORR (TYPE-C, 64 BYTES)
発信ユーザー関係子。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 365 (OUSERCOR) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_TCPIPSERV (TYPE-C, 8 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE の名前。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 366 (OTCPSVCE) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_PORTNUM (TYPE-A, 4 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE によって使用されるポート番号。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 367 (OPORTNUM) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_CLIPADDR (TYPE-C, 40 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 372 (OCLIPADR) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_CLIPPORT (TYPE-A, 4 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの TCP/IP ポート番号。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 369 (OCLIPORT) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_TRANFLAG (TYPE-A, 8 BYTES)
発信トランザクション・フラグ。 この 64 ビットのストリングは、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 370 (OTRANFLG) を参照してください。

MNR_ID_ORIGIN_FCTYNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
発信トランザクションのファシリティー名。 発信トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 371 (OFCTYNME) を参照してください。

MNR_PHD_NTWKID (TYPE-C, 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS 領域内の直前のタスクの CICS システムのネットワーク ID。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 373 (PHNTWKID) を参照してください。

MNR_PHD_APPLID (TYPE-C, 8 BYTES)
前のホップ・データからの APPLID。 これは、このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の前のタスクの CICS システムの APPLID です。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 374 (PHAPPLID) を参照してください。 前のホップ・データについて詳しくは、直前のホップのデータの特性を参照してください。

MNR_PHD_ATTACH_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクの開始時刻。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 375 (PHSTART) を参照してください。

MNR_PHD_TRANNUM (TYPE-P, 4 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのタスク番号。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 376 (PHTRANNO) を参照してください。

MNR_PHD_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのトランザクション ID (TRANSID)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 377 (PHTRAN) を参照してください。

MNR_PHD_COUNT (TYPE-A, 4 BYTES)
このタスクが関連付けられているタスクを開始するために、特定の CICS システムから別の CICS 領域に要求が出された回数。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 378 (PHCOUNT) を参照してください。

MNR_PTD_ATTACH_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクの開始時刻。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 480 (PTSTART) を参照してください。

MNR_PTD_TRANNUM (TYPE-P, 4 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのタスク番号。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 481 (PTTRANNO) を参照してください。

MNR_PTD_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのトランザクション ID (TRANSID)。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 482 (PTTRAN) を参照してください。

MNR_PTD_COUNT (TYPE-A, 4 BYTES)
あるタスクから、それに関連した他のタスクを同じ CICS システム内で開始する要求 (**EXEC CICS RUN TRANSID** コマンドや **START** コマンドによる要求など) が出された回数。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 483 (PTCOUNT) を参照してください。

MNR_ID_TRNGRPID (TYPE-C, 28 BYTES)
親タスクのトランザクション・グループ ID。

ファイル項目フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内の各ファイル項目を示します。

パフォーマンス・クラス・モニター・データへのトランザクション・ファイル・アクセスについては、DFHFILE グループを参照してください。

MNR_FILE_NAME (TYPE-C, 8 BYTES)
このフィールドの後に続くデータ・フィールドが参照するファイルの、CICS の 8 文字の名前。

MNR_FILE_GET (TYPE-S, 8 BYTES)
ユーザー・タスクがこのファイルに対して発行した GET 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行された GET 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_PUT (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対してユーザー・タスクが発行した PUT 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行された PUT 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_BRWSE (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対してユーザー・タスクが発行した BROWSE 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行された BROWSE 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_ADD (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対してユーザー・タスクが発行した ADD 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行された ADD 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_DEL (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対してユーザー・タスクが発行した DELETE 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行された DELETE 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_TOTAL (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対してユーザー・タスクが発行したすべての要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間の合計。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、このファイルに対して発行されたすべての要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_FILE_AM_RQ (TYPE-A, 4 BYTES)
ユーザー・タスクがファイル・アクセス方式のインターフェースを呼び出した回数。 DFHFILE グループのパフォーマンス・データ・フィールド 070 (FCAMCT) も参照してください。

MNR_FILE_IO_WT (TYPE-S, 8 BYTES)
このファイルに対する入出力待ち時間の合計。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、入出力を待機していたファイルに対して発行された要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_RLS_FILE_IO_WT (TYPE-S, 8 BYTES)
ユーザー・タスクが、このファイルに対する RLS ファイル入出力を待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、入出力を待機していた RLS ファイルに対して発行された要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_CFDT_IO_WT (TYPE-S, 8 BYTES)
カップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーへのデータ・アクセス要求がこのファイルに対して完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、ファイルのカップリング・ファシリティー・データ・テーブル・サーバーへの要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

一時記憶域キュー項目フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内の各一時記憶域キュー項目を示します。

パフォーマンス・クラス・モニター・データへのトランザクション一時記憶域キュー・アクセスについては、DFHTEMP グループを参照してください。

MNR_TSQUEUE_NAME (TYPE-C, 16 BYTES)
このフィールドの後に続くデータ・フィールドが参照する一時記憶域キューの、CICS の 16 文字の名前。

MNR_TSQUEUE_GET (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した GET 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行された GET 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_PUT_AUX (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した補助一時記憶域への PUT 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行された、補助一時記憶域への PUT 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_PUT_MAIN (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した主一時記憶域への PUT 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行された、主一時記憶域への PUT 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_TOTAL (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行したすべての要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間の合計。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行されたすべての要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_GET_ITEML (TYPE-A, 4 BYTES)
この一時記憶域キューから取得されたすべての項目の全長。

MNR_TSQUEUE_PUT_AUX_ITEML (TYPE-A, 4 BYTES)
補助一時記憶域キューに書き込まれたすべての項目の全長。

MNR_TSQUEUE_PUT_MAIN_ITEML (TYPE-A, 4 BYTES)
主一時記憶域キューに書き込まれたすべての項目の全長。

MNR_TSQUEUE_IO_WT (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューでの入出力待ち時間の合計。 このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、入出力を待機していた一時記憶域キューに対して発行された要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_SHR_TSQUEUE_IO_WT (TYPE-S, 8 BYTES)
共用一時記憶域キューでの入出力待機の合計時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、入出力を待機していた共用一時記憶域キューに対して発行された要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_GET_SHR (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した共用一時記憶域への GET 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行された、共用一時記憶域への GET 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_PUT_SHR (TYPE-S, 8 BYTES)
この一時記憶域キューに対してユーザー・タスクが発行した共用一時記憶域への PUT 要求が完了するのを、ユーザー・タスクが待っている間に経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、この一時記憶域キューに対して発行された、共用一時記憶域への PUT 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_TSQUEUE_GET_SHR_ITEML (TYPE-A, 4 BYTES)
この共用一時記憶域キューから取得されたすべての項目の全長。

MNR_TSQUEUE_PUT_SHR_ITEML (TYPE-A, 4 BYTES)
この共用一時記憶域キューに書き込まれたすべての項目の全長。

分散プログラム・リンク項目フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内の各分散プログラム・リンク項目を示します。

パフォーマンス・クラス・モニター・データへのトランザクション・プログラム・アクセスについては、DFHPROG グループを参照してください。

MNR_DPL_PROGRAM_NAME (TYPE-C, 8 BYTES)
このフィールドの後に続くデータ・フィールドが参照するプログラムの名前。

MNR_DPL_SYSID (TYPE-C, 4 BYTES)
このプログラムが分散プログラム・リンクのために経路指定されたリモート・システムの名前。

MNR_DPL_LINK_REQS (TYPE-C, 4 BYTES)
このプログラムとシステム識別名との組み合わせのためにユーザー・タスクが発行した、分散プログラム・リンク要求の数。

URIMAP 項目フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内の各 URIMAP 項目を示します。

パフォーマンス・クラス・モニター・データへの URIMAP アクセスについては、DFHWEBB グループを参照してください。

MNR_URIMAP_NAME (TYPE-C, 8 BYTES)
以下のデータ・フィールドが参照している URIMAP の CICS 名 (8 文字)。この URIMAP は、ユーザー・タスクから発行された **WEB OPEN** コマンドで使用されたクライアント URIMAP です。

MNR_URIMAP_CIPHER (TYPE-A, 4 BYTES)
WEB OPEN URIMAP で確立された接続に使用するために SSL ハンドシェーク時に選択された暗号スイートを表すコード (存在する場合)。例えば、X'0000002F' などです。

MNR_URIMAP_WEBOPEN (TYPE-S, 8 BYTES)
この URIMAP についてユーザー・タスクが発行した **WEB OPEN URIMAP** 要求の完了を待機して経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、URIMAP に対して発行された **WEB OPEN** 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_URIMAP_WEBRECV (TYPE-S, 8 BYTES)
この URIMAP のセッション・トークンに対してユーザー・タスクが発行した **WEB RECEIVE** 要求と受信側の **WEB CONVERSE** 要求の完了を待機して経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、発行された **WEB RECEIVE** 要求と **WEB CONVERSE** 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

MNR_URIMAP_WEBSEND (TYPE-S, 8 BYTES)
この URIMAP のセッション・トークンに対してユーザー・タスクが発行した **WEB SEND** 要求と送信側の **WEB CONVERSE** 要求の完了を待機して経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、発行された **WEB SEND** 要求と **WEB CONVERSE** 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

WEBSERVICE 項目フィールド

以下のフィールドに、トランザクション・リソース・モニター・レコード内の各 WEBSERVICE 項目を示します。

パフォーマンス・クラス・モニター・データへの WEBSERVICE アクセスについては、DFHWEBC グループを参照してください。

MNR_WEBSVC_NAME (TYPE-C, 32 BYTES)
ユーザー・タスクが発行した **INVOKE SERVICE** コマンドで使用された WEBSERVICE リソース定義の名前。

MNR_WEBSVC_PIPE (TYPE-C, 8 BYTES)
このタスクで処理されたサービス要求に対応したメッセージ・ハンドラーの情報を提供するために使用された PIPELINE リソース定義の名前。

MNR_WEBSVC_INVK (TYPE-S, 8 BYTES)
この WEBSERVICE に対してユーザー・タスクが発行した **INVOKE SERVICE** 要求の完了を待機して経過した時間。このフィールドのカウント・パート (下位の 24 ビット) には、WEBSERVICE に対して発行された **INVOKE SERVICE** 要求の数が含まれています。

詳しくは、クロックおよびタイム・スタンプおよび「リファレンス」の『トランザクションの待機 (中断) 時間』を参照してください。

第 5 章 ID クラス・データ: データ・フィールドのリスト

ID クラス・データは、モニター・レコードの ID クラス・データ・セクションに表示される順序でリストされています。

CICS の 1 回の実行で生成される ID クラス・データ・レコードはすべて同じ形式であり、ID レコード・ヘッダーの後、モニター対象の各トランザクションに 1 つの ID データ・セクションが続きます。 モニター・レコードの ID クラス・データ・セクションの形式は、DSECT DFHMNIDS によってマップすることができます。

ヘッダー・フィールド

以下のフィールドは、ID クラス・モニター・レコード内のヘッダー・フィールドです。

MNI_ID_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション ID。

MNI_ID_TERMID (TYPE-C, 4 BYTES)
端末 ID。 タスクが端末またはセッションに関連付けられていない場合、この識別フィールドはヌルです。

MNI_ID_USERID (TYPE-C, 8 BYTES)
タスク作成時のユーザー ID、または接続時セキュリティーが有効な MRO または APPC リンクを経由して ATTACH 要求を受け取った結果として作成されたタスクのリモート・ユーザー ID。

MNI_ID_STYPE (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクションの開始タイプ。 高位バイト (0 および 1) は、以下のいずれかの値を取ることができます。

"TO" 端末入力から接続されます。

"S " データなしで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"SD" データ付きで、自動トランザクション開始 (ATI) によって接続されます。

"QD" 一時データ・トリガー・レベルによって接続されます。

"U " ユーザー要求によって接続されます。

"TP" 端末 TCTTE トランザクション ID から接続されます。

"SZ" フロントエンド・プログラミング・インターフェース (FEPI) によって接続されます。

MNI_ID_START (TYPE-T, 8 BYTES)
トランザクションの開始時刻。

MNI_ID_STOP (TYPE-T, 8 BYTES)
トランザクションの停止時刻。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

MNI_ID_TASKNO (TYPE-A, 4 BYTES)
トランザクションの識別番号 (タスク接続時にトランザクションに割り振られたタスク番号)。

MNI_ID_LUNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
このトランザクションに関連付けられている端末の z/OS Communications Server 論理装置名 (使用可能な場合)。 タスクがアプリケーション所有またはファイル所有の領域で実行している場合、LUNAME は、MRO、LUTYPE6.1、および LUTYPE6.2 (APPC) の起点接続の総称アプリケーション ID です。 起点接続が外部の CICS インターフェース (EXCI) である場合は、LUNAME はブランクです。

MNI_ID_PGMNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
接続時に呼び出された最初のプログラムの名前。 詳しくは、DFHPROG パフォーマンス・データ・グループのフィールド 071 (PGMNAME) を参照してください。

MNI_ID_UOW_PX (TYPE-C, 20 BYTES)
このフィールドには、パフォーマンス・クラス・データ・フィールド NETUOWPX と同じ情報が含まれています。 詳しくは、グループ DFHTASK 内の NETUOWPX を参照してください。

MNI_ID_UOW_SX (TYPE-C, 8 BYTES)
このフィールドには、パフォーマンス・クラス・データ・フィールド NETUOWSX と同じ情報が含まれています。 詳しくは、グループ DFHTASK の NETUOWSX を参照してください。

MNI_ID_RSYSID (TYPE-C, 4 BYTES)
このトランザクションが動的または静的に経路指定された先のリモート・システムの名前 (システム ID)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 130 (RSYSID) を参照してください。

MNI_ID_TRN_FLAGS (TYPE-A, 8 BYTES)
トランザクション・フラグ。これは、64 ビットのストリングで、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。 詳しくは、DFHTASK パフォーマンス・データ・グループのフィールド 164 (TRANFLAG) を参照してください。

MNI_ID_FCTYNAME (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション・ファシリティー名。 トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。 トランザクション・フラグ (MNR_ID_TRN_FLAGS) フィールドのバイト 0 を使用すると、トランザクション・ファシリティー・タイプが存在している場合はそれを識別することができます。 詳しくは、DFHTASK パフォーマンス・データ・グループのフィールド 163 (FCTYNAME) を参照してください。

MNI_ID_RTYPE (TYPE-C, 4 BYTES)
トランザクション・リソース・モニター・レコード・タイプ (下位バイト 3)。 現在のところこのレコード・タイプの値は T の 1 つだけで、この値はタスク終了に関して生成されるレコードであることを示します。 レコード・タイプについての詳細は、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 112 (RTYPE) を参照してください。

MNI_ID_TERMINFO (TYPE-A, 4 BYTES)
タスクの基本ファシリティーの端末またはセッション情報。端末情報についての詳細は、DFHTERM パフォーマンス・データ・グループのフィールド 165 (TERMINFO) を参照してください。

MNI_ID_TERMCNNM (TYPE-C, 4 BYTES)
端末セッションの接続名。 このトランザクションに関連付けられている端末ファシリティーがセッションの場合は、このフィールドは所有側の接続 (システム ID) の名前になります。 詳しくは、DFHTERM パフォーマンス・データ・グループのフィールド 169 (TERMCNNM) を参照してください。

MNI_ID_ISIPICNM (TYPE-C, 8 BYTES)
ユーザー・タスクを接続した TCP/IP サービスの IPIC (IPCONN) 項目の名前。 詳しくは、DFHSOCK パフォーマンス・クラス・データ・グループのフィールド 305 (ISIPICNM) を参照してください。

MNI_ID_CLIPADDR (TYPE-C, 40 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。 詳しくは、DFHSOCK パフォーマンス・クラス・データ・グループのフィールド 318 (CLIPADDR) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_NETWKID (TYPE-C, 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信されたネットワーク ID。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 359 (ONETWKID) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_APPLID (TYPE-C, 8 BYTES)
この処理要求 (トランザクション) が発信された CICS 領域のアプリケーション ID (例えば、CWXN タスクが実行された領域)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 360 (OAPPLID) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_ATT_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
親タスクが開始された時刻 (例、CWXN タスク)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 361 (OSTART) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_TRANNUM (TYPE-P, 4 BYTES)
親タスクの数 (例、CWXN タスク)。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 362 (OTRANNUM) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
親タスクのトランザクション ID (TRANSID) (例、CWXN タスク)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 363 (OTRAN) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_USERID (TYPE-C, 8 BYTES)
親タスクに応じて、発信 Userid-2 または Userid-1 (例、CWBA からの)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 364 (OUSERID) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_USER_CORR (TYPE-C, 64 BYTES)
発信ユーザー関係子。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 365 (OUSERCOR) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_TCPIPSERV (TYPE-C, 8 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE の名前。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 366 (OTCPSVCE) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_PORTNUM (TYPE-A, 4 BYTES)
発信 TCPIPSERVICE によって使用されるポート番号。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 367 (OPORTNUM) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_CLIPADDR (TYPE-C, 40 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの IP アドレス。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 372 (OCLIPADR) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_CLIPPORT (TYPE-A, 4 BYTES)
発信クライアントまたは Telnet クライアントの TCP/IP ポート番号。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 369 (OCLIPORT) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_TRANFLAG (TYPE-A, 8 BYTES)
発信トランザクション・フラグ。 この 64 ビットのストリングは、トランザクション定義および状況情報を通知するために使用されます。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 370 (OTRANFLG) を参照してください。

MNI_ID_ORIGIN_FCTYNAME (TYPE-C, 8 BYTES)
発信トランザクションのファシリティー名。 発信トランザクションがファシリティーに関連付けられていない場合、このフィールドはヌルです。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 371 (OFCTYNME) を参照してください。

MNI_PHD_NETWKID (TYPE-C, 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクの CICS システムのネットワーク ID。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 373 (PHNTWKID) を参照してください。

MNI_PHD_APPLID (TYPE-C, 8 BYTES)
前のホップ・データからの APPLID。 これは、このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の前のタスクの CICS システムの APPLID です。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 374 (PHAPPLID) を参照してください。

MNI_PHD_ATTACH_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクの開始時刻。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 375 (PHSTART) を参照してください。

MNI_PHD_TRANNO (TYPE-P, 4 BYTES)
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのタスク番号。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 376 (PHTRANNO) を参照してください。

MNI_PHD_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES
このタスクが関連付けられている別の CICS システム内の直前のタスクのトラ

ンザクション ID (TRANSID)。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 377 (PHTRAN) を参照してください。

MNI_PHD_COUNT (TYPE-A, 4 BYTES)
このタスクが関連付けられているタスクを開始するために、特定の CICS システムから別の CICS システムに要求が出された回数。 詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 378 (PHCOUNT) を参照してください。

MNI_PTD_ATTACH_TIME (TYPE-T, 8 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクの開始時刻。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 480 (PTSTART) を参照してください。

MNI_PTD_TRANNUM (TYPE-P, 4 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのタスク番号。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 481 (PTTRANNO) を参照してください。

MNI_PTD_TRANID (TYPE-C, 4 BYTES)
このタスクに関連付けられている同じ CICS システム内の直前のタスクまたは親タスクのトランザクション ID (TRANSID)。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 482 (PTTRAN) を参照してください。

MNI_PTD_COUNT (TYPE-A, 4 BYTES)
あるタスクから、それに関連した他のタスクを同じ CICS システム内で開始する要求 (**RUN TRANSID** コマンドや **START** コマンドによる要求など) が出された回数。詳しくは、DFHCICS パフォーマンス・データ・グループのフィールド 483 (PTCOUNT) を参照してください。

データ項目フィールド

各 ID レコードは、1 つの ID レコード・ヘッダー、1 つの ID レコード識別セクション、および 2 つの ID データ項目 (識別名の項目およびレルムの項目) で構成されます。 各 ID データ項目は、項目 ID フィールド、項目の長さフィールド、および可変長項目フィールドで構成されます。

MNI_ENTRY_IDENT
データ項目 ID

MNI_ENTRY_LENGTH
データ項目 ID で指定されるデータ項目の長さ。

MNI_ENTRY_FIELD
データ項目フィールド

表 *8. ID* レコード・データ項目フィールド

データ項目 **ID** **10** 進数 **(16** 進数**)**	データ項目の長さ	フォーマット	説明
1 (1)	1 から 246	UTF-8	ユーザーを一意的に識別する識別名。

表 *8. ID* レコード・データ項目フィールド (続き)

データ項目 **ID** **10** 進数 **(16** 進数**)**	データ項目の長さ	フォーマット	説明
2 (2)	1 から 255	UTF-8	要求された認証情報 (つまり、ユーザー ID とパスワード) の適用先のリソースの集合を識別するレルム。

第 6 章 総称アラート構造および解決構造

この付録では、CICSPlex SM で使用される SNA 総称アラート構造および解決構造について説明します。

総称アラート構造

CICSPlex SM アラート MS 主ベクトルには、いくつかのサブベクトルに総称アラートの情報が含まれています。

CICSPlex SM アラート MS 主ベクトルには、次のサブベクトルが含まれています。

『総称アラート・データ』 **(X'92') MS** サブベクトル
: これは、アラート記述コードを 『IMPENDING PROBLEM: THRESHOLD HAS BEEN REACHED』 (X'4012') として識別します。

『推定原因』 **(X'93') MS** サブベクトル
: これは、『PERFORMANCE DEGRADED』 (X'4000') を指定するシングル・コード・ポイントを識別します。

『原因不明』 **(X'97') MS** サブベクトル
: 次のものが含まれます。

- 『推奨処置』 (X'81') 共通サブフィールド。これにより、『REVIEW』 (X'00A1') を指定する 1 つのコード・ポイントが識別されます。
- 2 つの 『詳細データ』 (X'82') 共通サブフィールドには次のものが含まれます。
  1. 『THRESHOLD PARAMETER』 (X'7111') のデータ ID (EBCDIC エンコード方式)。この内容は、イベントに関連付けられた ACTNDEF で識別された CMAS により使用される ALERTVER CMAS システム・パラメーター (EYUPARM) に応じて異なります。

     ALERTVER(0) レコードおよび ALERTVER(1) レコードには次の文字が含まれます。

     0-2 作成者 (SAM] MRM] APM)

     3-5 RTA イベント重大度 (VLS | VLW | LW | HW | HS | VHS)

     6-13 RTA イベント名 (RTADEF name |STATDEF name | !!SAM*xxx*)
  2. 次の文字を含む、『PROBLEM DATA』 (X'F511') のデータ ID (EBCDIC エンコード方式)。

     0-29 アクション定義 (ACTNDEF) からの 『Enter Msg』 のテキスト

     ALERTVER(1) レコードには以下も含まれます。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

14-16 アラートのバージョン (001)

17-19 優先順位 (001-255)

20-27 シーケンス

28-29 評価の論理演算子 (GT | GE |EQ |NE |LE |LT)
– データは RTADEF イベントでのみ使用可能です。このフィールドには STATDEF イベントと SAM イベントのスペースが含まれます。

30-32 評価タイプ (VAL | THR) - VALuation または THReshold。
– データは RTADEF イベントでのみ使用可能です。このフィールドには STATDEF イベントと SAM イベントのスペースが含まれます。

33-44 評価のリソース・テーブル属性
– データは RTADEF イベントでのみ使用可能です。このフィールドには STATDEF イベントと SAM イベントのスペースが含まれます。

45-88 評価データ
– データは、評価タイプが VAL の RTADEF イベントでのみ使用可能です。このフィールドには他のすべてのイベントのスペースが含まれます。

89-132
最新評価データの評価
– データは RTADEF イベントでのみ使用可能です。このフィールドには STATDEF イベントと SAM イベントのスペースが含まれます。

『製品セット **ID**』 **(X'10') MS** 共通サブベクトル
製品を IBM ソフトウェア (X'04') として識別する 『製品 ID』 (X'11') 共通サブベクトルであり、次のものが含まれます。

- 製品番号を 5655S97 と識別する 『製品番号』 (X'08') 製品 ID サブフィールド。
- 共通名を CICSPLEX.SM と識別する 『製品共通名』 (X'06') 製品 ID サブフィールド。
- バージョン、リリース、および修正レベルを識別する 『製品共通レベル』 (X'04') 製品 ID サブフィールド。

『階層/リソース・リスト』 **(X'05') MS** 共通サブベクトル
次のものが含まれます。

- 次のリスト・エレメントを含む 『階層名リスト』 (X'10') 階層/リソース・リスト・サブフィールド。

要素	リソース・タイプ **(Resource Type)**	リソース名 **(Resource Name)**
1	サービス・ポイント (X'81')	RTA CONTEXT
2	未指定デバイス (X'00')	RTA SCOPE

要素	リソース・タイプ **(Resource Type)**	リソース名 **(Resource Name)**
3	未指定デバイス (X'00')	RTA RESOURCE TYPE または SAM EVENT NAME

- 『関連リソース・リスト』 (X'11') サブフィールド。これには、イベントの名前かイベントに関連付けられた CICSPlex SM リソース・テーブルのインスタンス・キーを識別する 16 文字の EBCDIC リソース名が含まれます。 SAM イベントの場合、『関連リソース・リスト』 は次のように設定されます。

  !!SAMMAX、**!!SAMOPS** または **!!SAMNRM**
  ブランク

  !!SAMSDM
  6 文字のシステム・ダンプ・コード

  !!SAMSOS
  文字の DSA 名または SOS の場所

  !!SAMSTL
  文字の停止理由

  !!SAMTDM
  CCCCTTTTUUUUUUUU。ここで、CCCC は 4 文字のトランザクション・ダンプ・コード、TTTT は 4 文字のトランザクション・ダンプ名、UUUUUUUU はダンプ・タスクに関連付けられたユーザー ID です。

『インシデント **ID**』 **(X'4A') MS** 共通サブベクトル
これには 『インシデント ID』 (X'01') インシデント ID サブフィールドが含まれます。これはエンコード・タイプ X'01' を使用します。フィールドは以下のとおりです。

フィールド
内容**;** 長さ

Netid:
期間; 8 文字

ネットワーク・アドレス可能単位**:**
発信 CMAS の APPLID; 8 文字

アプリケーション名**:**
CICSplex 名; 8 文字

固有 **ID:**
GMT タイム・スタンプと連結された CMAS 名; 16 文字

解決構造

解決 (X'0002') MS 主ベクトルは、『原因不明』 MS サブベクトルの 2 つの "詳細データ" 共通サブフィールドを除けば、アラート MS 主ベクトルと同じ構造です。

- 『原因不明』 MS サブベクトルの最初の "詳細データ" 共通サブフィールドでは、ALERTVER(1) バージョンのレコードの 『最新評価データの評価』 (89-132) フィールドに必ずスペースが含まれます。
- 『原因不明』 MS サブベクトルの 2 番目の 『詳細データ』 共通サブフィールドには、アクション定義の 『Exit Msg』 のテキストが含まれます (『Enter Msg』 テキストではない)。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。 IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒*103-8510*
東京都中央区日本橋箱崎町*19*番*21*号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。 IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態で提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。 IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- Developing system programs
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発h
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- Troubleshooting and support
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSPlex SM Managing Workloads
- CICSPlex SM Managing Resource Usage
- CICSPlex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSPlex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSPlex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、 http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲
: IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用
: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用
: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利　ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**メイン・インターフェース**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**データ・インターフェース**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSPlex SM Web ユーザー・インターフェース **(**「**Hello World**」ページ**)** の場合**:**　このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合**:**

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、 お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および「IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement」(http://www.ibm.com/software/info/product-privacy) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

［サ行］

総称アラート
　CICSPlex SM で使用される構造 95

［タ行］

トランザクション・リソース・クラス・データ
　フィールド・リスト 77

［ハ行］

パフォーマンス・クラス・データ
　フィールド・リスト 15
　DFHCBTS 15
　DFHCHNL 17
　DFHCICS 18

［マ行］

モニター
　トランザクション・リソース・クラス・データ
　　フィールド・リスト 77
　パフォーマンス・クラス・データ
　　フィールド・リスト 15
　例外クラス・データ
　　フィールド・リスト 71
　ID クラス・データ
　　フィールド・リスト 89

［ラ行］

例外クラス・データ
　フィールド・リスト 71

C

CICS モニター機能
　トランザクション・リソース・クラス・データ
　　フィールド・リスト 77
CICS モニター機能 (続き)
　パフォーマンス・クラス・データ
　　フィールド・リスト 15
　例外クラス・データ
　　フィールド・リスト 71
　ID クラス・データ
　　フィールド・リスト 89

D

DFHCBTS、パフォーマンス・データ・グループ 15
DFHCHNL、パフォーマンス・データ・グループ 17
DFHCICS、パフォーマンス・データ・グループ 18

I

ID クラス・データ
　フィールド・リスト 89

N

NetView へのアラート
　構造 95

© Copyright IBM Corp. 1977, 2018

日本アイ･ビー･エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21